

Quality for You   
MUFG

2012年3月期(平成24年3月期) 第1四半期

# 決算説明資料



カブドットコム証券株式会社

(東証1部8703)

2011年7月25日



カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。   
MUFG

## ．決算概況

- (P 3) 2012年3月期第1四半期 決算ハイライト
- (P 4) 決算概況
- (P 5) 販管費概況
- (P 6) 主要経営指標
- (P 7) 純営業収益概況(商品別)
- (P 8) 株式 約定件数・約定金額
- (P 9) 株式 手数料率
- (P10) 株式 個人委託売買代金シェア
- (P11) 投資信託
- (P12) 先物・オプション
- (P13) 外国為替証拠金取引(店頭FX・大証FX)
- (P14) 金融収支・信用建玉残高

## ．当期の取り組み

- (P16) 当期の主な取り組み
- (P17) 三菱東京UFJ銀行との金融商品仲介事業の取り組み
- (P18) 株式シェア上昇の取り組み
- (P19) 投資信託の取り組み
- (P20) FXの取り組み
- (P21) スマートフォンの取り組み

## ．経営目標

- (P23) 経営目標 ～ROEと配当方針～
- (P24) 経営環境と当社の戦略
- (P25) 経営理念・経営方針

## ．その他(業務計数等)

- (P27) コストカバー率(受入手数料ベース)
- (P28) 営業収益経常利益率
- (P29) 口座数
- (P30) 預り資産
- (P31) 投信預り資産とETF
- (P32) 株式差引入庫額
- (P33) 投信・プチ株積立実績
- (P34) 信用評価損益率
- (P35) IPO・PO取扱い件数
- (P36) 年代別株式取引の状況 ～団塊世代の取込み～
- (P37) システム関連の開示
- (P38) 私設取引システム(kabu.comPTS)関連の開示
- (P39) お客様サポートセンター関連の開示
- (P40) 知的財産関連の開示
- (P41) 株式個人売買代金、個人金融資産の動向

# 決算概況

## 2012年3月期第1四半期決算ハイライト

### 【2012年3月期第1四半期（4～6月）】

■ 営業収益	:	32億円	（前四半期比 - 13%、前年同期比 - 19%）
■ 純営業収益	:	27億円	（同 - 21%、前年同期比 - 22%）
■ 販管費	:	20億円	（同 - 2%、前年同期比 - 5%）
■ 経常利益	:	8億円	（同 - 42%、前年同期比 - 41%）
■ 当期純利益	:	5億円	（前四半期から黒転、前年同期比 - 50%）

（参考）株式個人委託売買代金（三市場） 4,506億円/日（前四半期比 - 35%、前年同期比 - 19%）  
 信用買建玉期末残高（三市場） 15,611億円（前四半期末比 + 7%、前年同期末比 - 21%）

- ✓ 株式個人委託売買代金は、前四半期比 - 35%であったが、金融収支、FXは相対的に堅調であり、純営業収益は前四半期比 - 21%にとどまる。
- ✓ システム関連費用の減少等により販管費は前四半期比 - 2%となるも、収益の減少をカバーできず。

「株式個人委託売買代金（三市場）」には新・旧ジャスダックを含めている。以下、本資料において同じ。

## 決算概況

- ✓ 株式個人委託売買代金は前四半期比35%の減少であったが、金融収支は若干の減少にとどまったこと、および大証FXの手数料増加等によりFXは前四半期比で増加したこと等により、純営業収益は2,791百万円と前四半期比21%の減少にとどまる。
- ✓ 前期計上の貸倒引当金の戻入と新規引当繰入の差引58百万円を営業外収益に計上。

(単位:百万円)	2011年3月期				2012年 3月期	前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)		
営業収益	4,042	2,977	3,233	3,798	3,293	-13%	-19%
受入手数料	2,536	1,752	1,889	2,535	1,841	-27%	-27%
金融収益	1,506	1,225	1,341	1,256	1,445	+15%	-4%
金融費用	486	226	456	277	502	+81%	+3%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	1,020	998	884	979	943	-4%	-8%
純営業収益	3,556	2,751	2,776	3,521	2,791	-21%	-22%
販管費	2,162	1,998	1,938	2,095	2,059	-2%	-5%
営業利益	1,394	752	837	1,426	731	-49%	-48%
経常利益	1,397	753	848	1,405	820	-42%	-41%
税引前純利益(四半期)	1,763	757	854	-1,782	847	-	-52%
当期純利益(四半期)	1,040	447	505	-1,395	517	-	-50%
(参考)三市場株式個人委託売買代金(1日)単位:億円	5,561	3,897	4,735	6,892	4,506	-35%	-19%
(参考)三市場信用買建玉期末残高 単位:億円	19,836	16,135	13,932	14,621	15,611	+7%	-21%
(参考)当社約定金額(1日) 単位:億円	380	258	310	482	329	-32%	-13%
(参考)当社信用買建玉期末残高 単位:億円	1,095	849	778	809	897	+11%	-18%

三市場株式個人委託売買代金、三市場信用買建玉期末残高は、東京証券取引所公表資料より当社算出。

## 販管費概況

- ✓ 販管費は2,059百万円と前四半期比2%減少。
- ✓ システム入替による減価償却費の一時計上、株主総会関連費用、貸株配当に係る税金等により一時的費用が増加。一方で大型システム資産の償却終了によるリース料、取引量減少に伴う取引関係費、事務費といった変動費は減少。
- ✓ システム関連費は一時的費用計上の一方、リース料の減少もあり前四半期比4%減少。

(単位:百万円)	2011年3月期				2012年 3月期	前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)		
販管費合計	2,162	1,998	1,938	2,095	2,059	-2%	-5%
取引関係費	926	844	798	908	880	-3%	-5%
広告宣伝費	83	59	53	73	76	+3%	-8%
その他	843	784	744	834	804	-4%	-5%
人件費	251	238	223	213	223	+5%	-11%
不動産関係費	464	438	442	445	393	-12%	-15%
事務費	184	166	139	159	156	-2%	-15%
減価償却費	237	248	264	300	322	+7%	+36%
租税公課	50	23	35	25	45	+80%	-10%
貸倒引当金繰入	10	0	2	0	-	-	-
その他	37	38	33	43	37	-14%	+0%
(参考)システム関連費	886	853	846	904	872	-4%	-2%

システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

## 主要経営指標

- ✓ ROE(年換算)は6.4%。収益増強、経営・資本効率の改善の強化等により、経営目標とするROE20%を目指す。
- ✓ 手数料収入の減少等により、営業収益経常利益率、コストカバー率は悪化。

	2011年3月期				2012年 3月期
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)
ROE(自己資本当期純利益率) *累計値の年換算で算出	11.9%	8.5%	7.5%	1.7%	6.4%
営業収益経常利益率	35%	25%	26%	37%	25%
コストカバー率 (受入手数料/販管費)	117%	88%	97%	121%	89%
コストカバー率 (受入手数料/システム関連費)	286%	205%	223%	280%	211%
自己資本規制比率	521%	560%	620%	553%	558%

## 純営業収益概況(商品別)

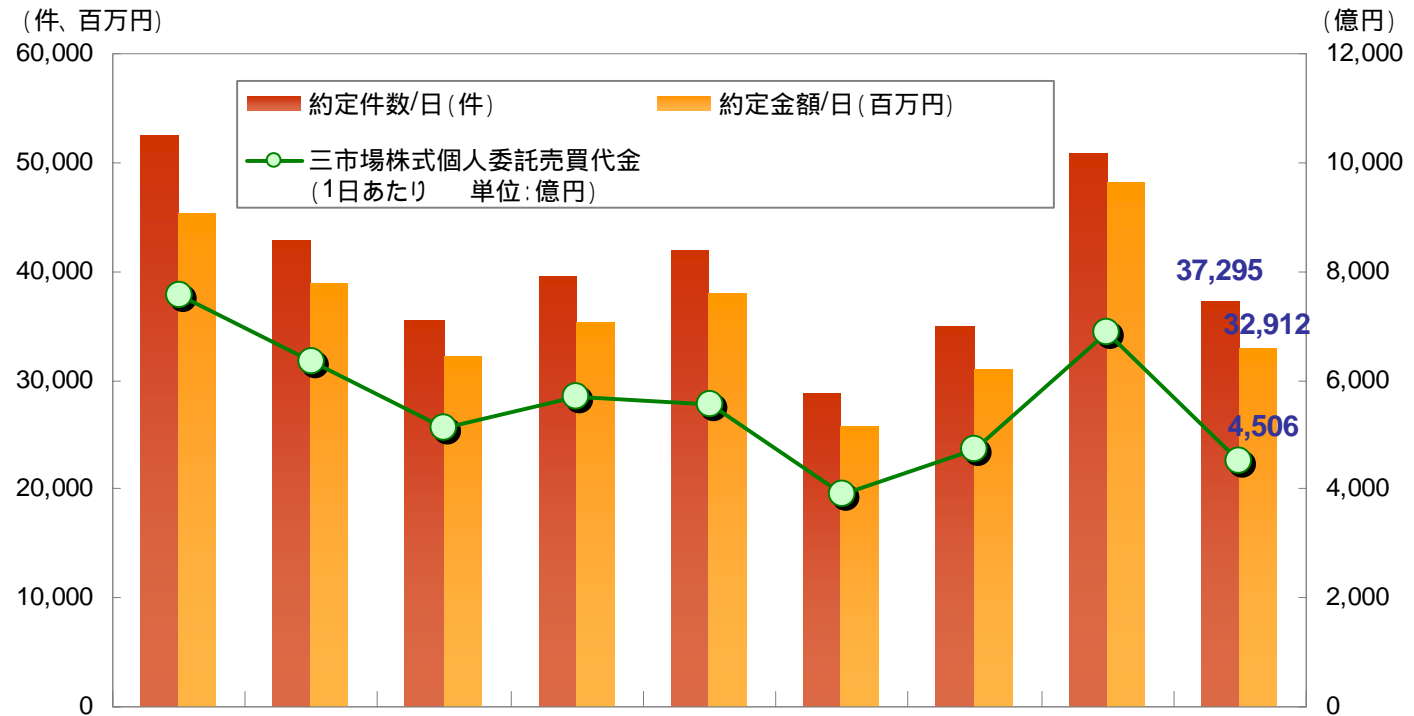
- ✓ 株式個人売買代金の低迷により、株式委託手数料は前四半期比34%減少。先物・オプションは、先物手数料引き下げの影響もあり、前四半期比46%減少。
- ✓ 大証FX手数料の増加等により、FXは前四半期比23%増加。
- ✓ 投資信託、金融収支は前四半期比若干の減少にとどまり、相対的に堅調。

(単位:百万円)	2011年3月期								2012年3月期		前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	(比率)	第2四半期 (7-9月)	(比率)	第3四半期 (10-12月)	(比率)	第4四半期 (1-3月)	(比率)	第1四半期 (4-6月)	(比率)		
株式	1,562	45%	984	36%	1,122	40%	1,735	49%	1,153	41%	-34%	-26%
(現物)	964	27%	562	20%	624	22%	1,076	31%	672	24%	-37%	-30%
(信用)	597	18%	422	15%	497	18%	659	19%	480	17%	-27%	-20%
先物・オプション	433	12%	296	11%	215	8%	285	8%	153	6%	-46%	-65%
投信信託	143	4%	130	5%	140	5%	144	4%	138	5%	-5%	-4%
FX(店頭+取引所)	229	5%	201	7%	222	7%	210	6%	258	9%	+23%	+13%
その他	167	5%	138	5%	187	7%	159	5%	137	5%	-14%	-18%
受入手数料合計	2,536	71%	1,752	64%	1,889	68%	2,535	72%	1,841	66%	-27%	-27%
金融収支	1,020	29%	998	36%	884	32%	979	28%	943	34%	-4%	-8%
純営業収益	3,556	100%	2,751	100%	2,776	100%	3,521	100%	2,791	100%	-21%	-22%



## 株式 約定件数・約定金額

✓ 株式個人売買代金の低迷に伴い、株式約定件数および株式約定金額は前四半期比で減少。



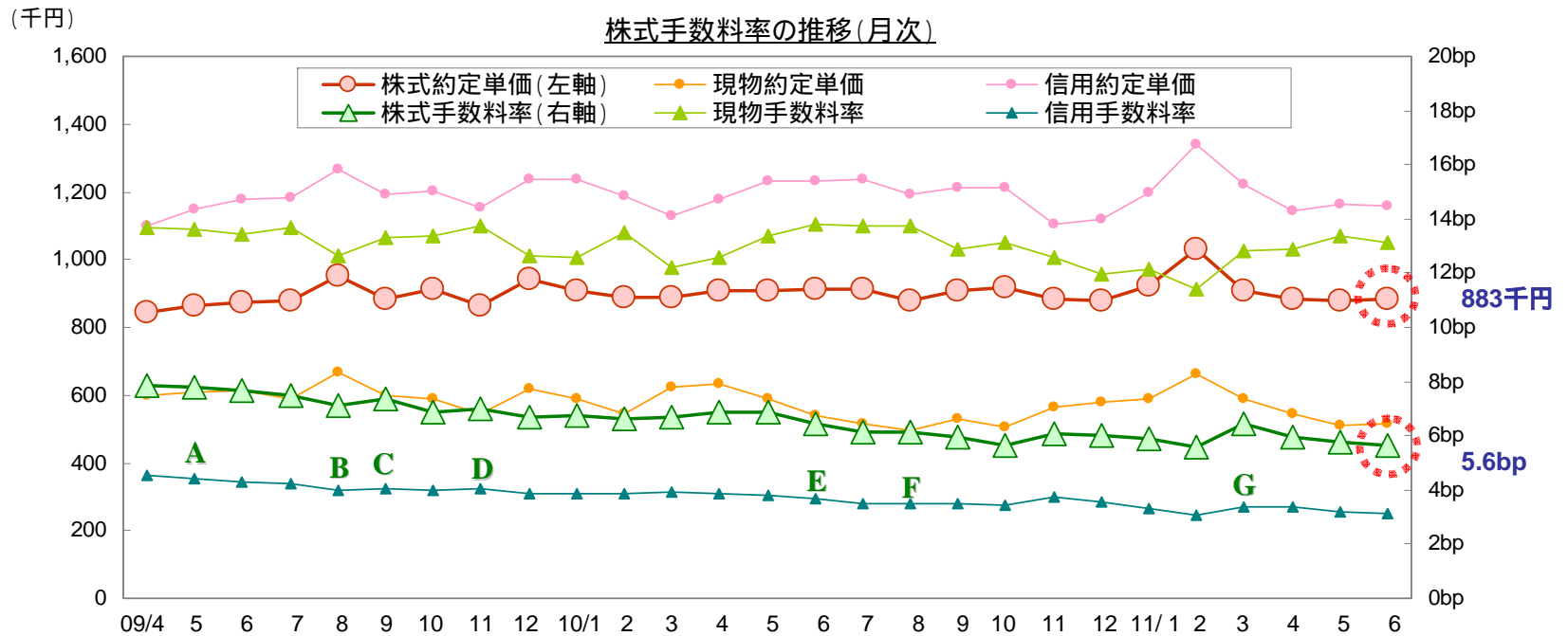
	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	前四半期比
約定件数 / 日 (件)	52,475	42,811	35,400	39,505	41,832	28,757	34,868	50,904	37,295	-27%
約定金額 / 日 (百万円)	45,258	38,818	32,150	35,353	38,043	25,868	31,024	48,231	32,912	-32%
三市場株式個人委託売買代金 / 日 (億円)	7,551	6,348	5,136	5,703	5,561	3,897	4,735	6,892	4,506	-35%

三市場株式個人委託売買代金は、東京証券取引所・大阪証券取引所公表資料より当社算出。

# 株式 手数料率

✓ 現物比率の低下などにより、当四半期の株式手数料率は5.8bpと前四半期より低下。

- 2009/ 5: 「プチ株®」手数料の引き下げ (A)
- 2009/ 8: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象(9,000万円以上)拡大(B)
- 2009/ 9: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象(8,000万円以上)拡大(C)
- 2009/11: 「自動最良執行注文」の手数料を引き下げ(D)
- 2010/ 6: 「フリーETF」の提供開始(E)
- 2010/ 8: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象(7,000万円以上)拡大(F)
- 2011/ 3: 信用取引大口顧客の手数料無料化対象(6,000万円以上)拡大(G)



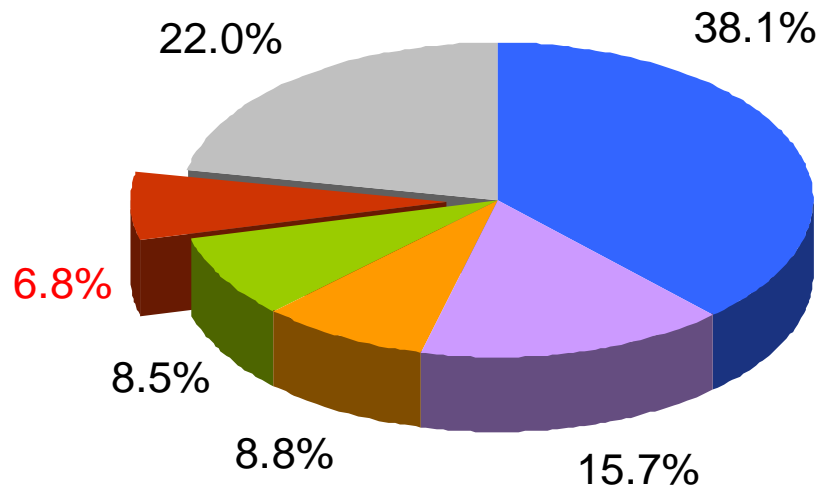
		2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
手数料率	(四半期)	7.8bp	7.3bp	6.8bp	6.7bp	6.7bp	6.1bp	5.9bp	6.0bp	5.8bp
	(年度)	7.2bp				6.2bp				5.8bp
現物比率	(当社)	36.8%	35.3%	30.9%	31.9%	31.7%	25.7%	26.5%	30.5%	25.7%
	(三市場)	44.7%	45.0%	42.6%	43.9%	43.1%	38.8%	41.0%	43.3%	42.3%

手数料率は、株式委託手数料÷株式約定金額 にて算出

## 株式 個人委託売買代金シェア

- ✓ 当社株式個人委託売買代金シェア(三市場。ジャスダック含む)は、前年同期比で0.5ポイントの増加。大手5社で唯一の前年同期比増加。
- ✓ 四半期ベースでのシェアは大手5社中4位に上昇。5月、6月は大手5社中3位に。

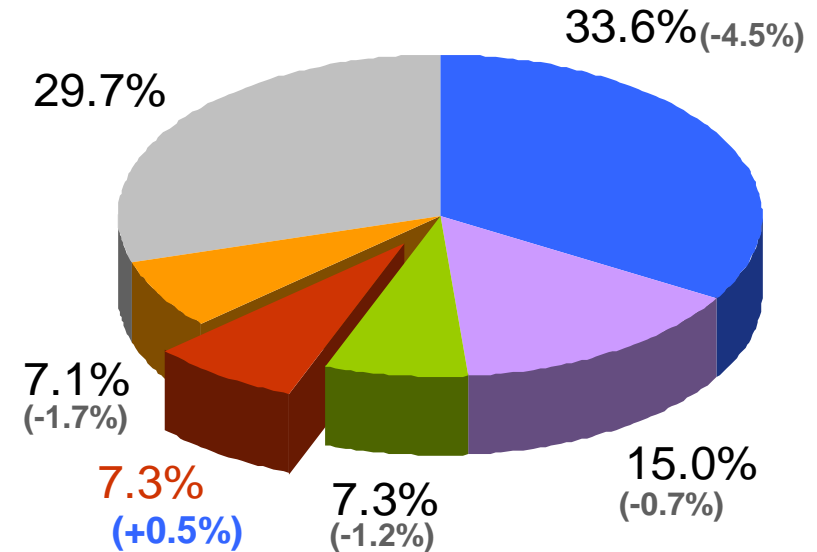
2011年3月期 第1四半期(4 - 6月)



■ SBI ■ 楽天 ■ マネックス ■ 松井 ■ カブドットコム ■ 他

オンライン証券大手5社計 **78.0%**

2012年3月期 第1四半期(4 - 6月)



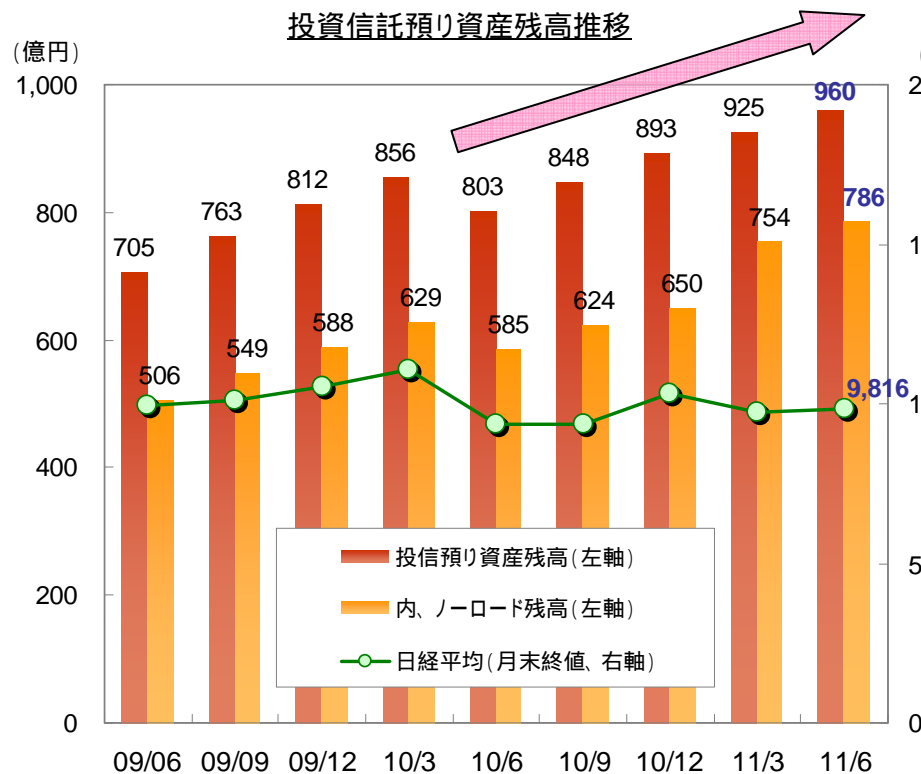
■ SBI ■ 楽天 ■ 松井 ■ カブドットコム ■ マネックス ■ 他

オンライン証券大手5社計 **70.3%**

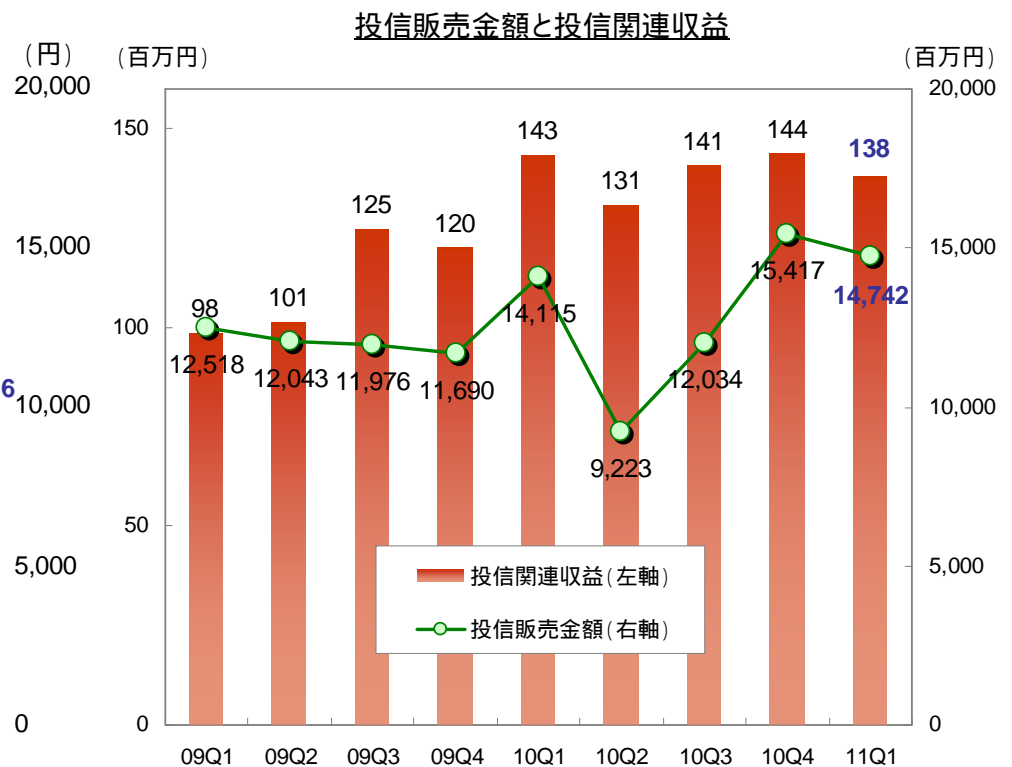
東京証券取引所公表資料、大阪証券取引所公表資料、各社公表資料より当社算出。  
 2011年3月期第1四半期のマネックス証券はオリックス証券分を含む。  
 SBI証券は、対面取引の売買代金を含む

# 投資信託

- ✓ 投資信託預り資産残高は960億円と四半期ベースで過去最高。
- ✓ 投資信託販売金額の減少により、投信関連収益は前四半期比で減少。



投信預り資産残高は四半期末の残高、時価ベースにて算出

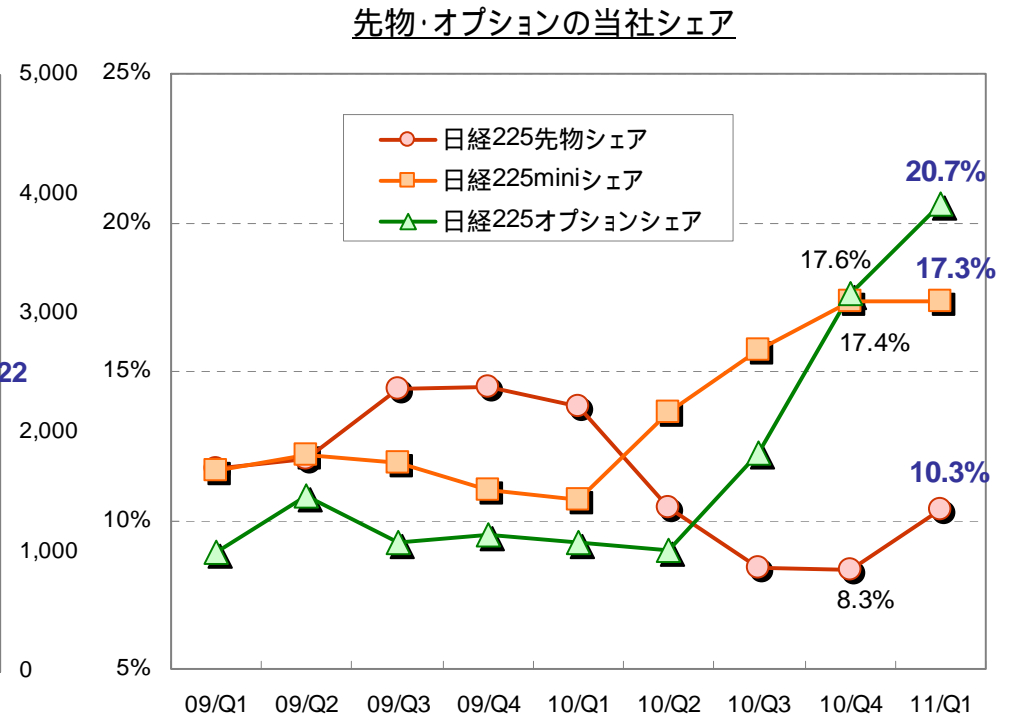
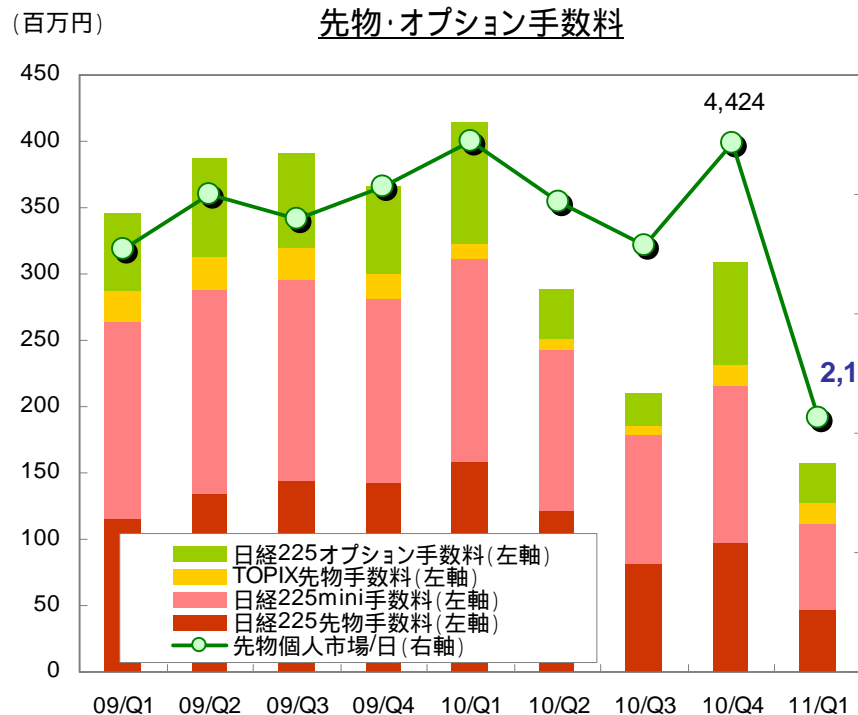


投信関連収益 = 投信募集手数料 + 投信信託報酬

投信販売金額には、MMF、外貨建MMF、中期国債ファンドの販売・設定額も含む。

## 先物・オプション

- ✓ 先物個人市場(ラージ+ミニ)が前四半期比52%減少したことにより、当社手数料収入も減少。
- ✓ 日経225先物(ラージ)は手数料引き下げによりシェア10%を回復。自社開発トレーディングツール「kabuステーション™」の訴求等により、引き続きデリバティブブランドの醸成を図る。
- ✓ 7月19日からの大証のナイト・セッション開始以降、約定金額は増加傾向。



大阪証券取引所公表資料より当社算出。先物個人市場は、日経225先物(ラージ)と日経225mini(ミニ)の個人市場売買代金の合算値。

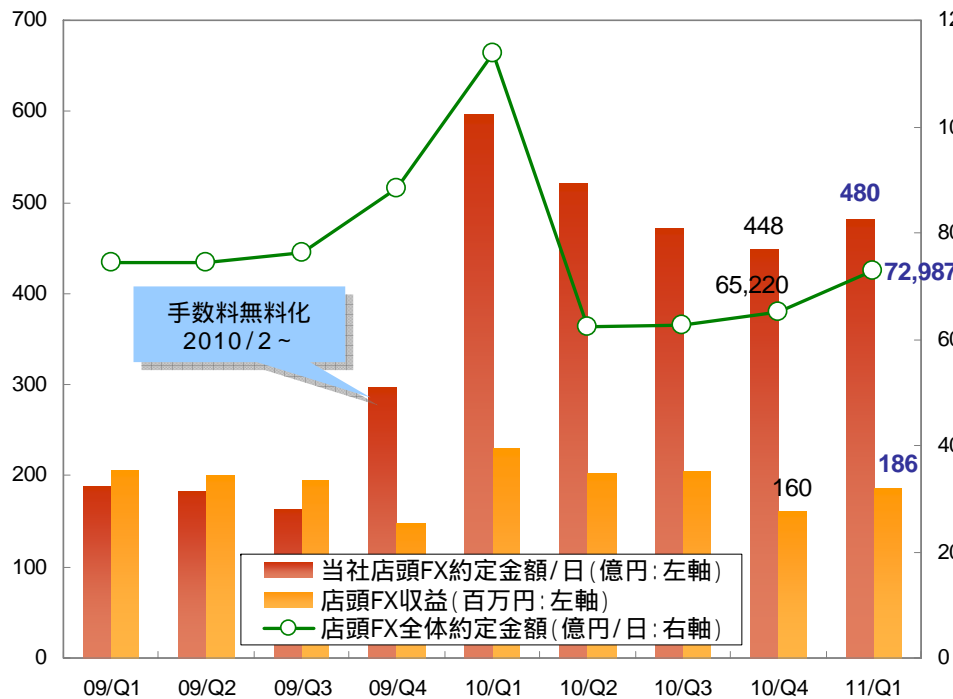
手数料に、ミニTOPIX先物、東証REIT指数先物、TOPIX Core30先物、CME日経225先物、有価証券オプションは含まず。

シェアは、商品毎の個人市場売買代金に占める割合。

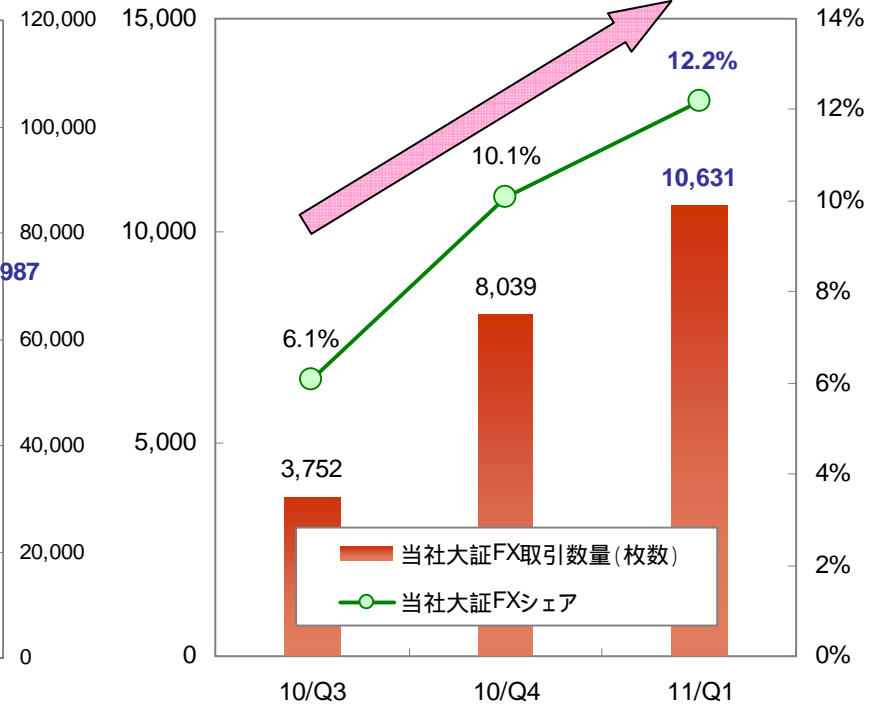
## 外国為替証拠金取引(店頭FX・大証FX)

- ✓ 店頭FXは、店頭全体の約定金額の増加に伴い、当社約定金額も増加。リッチクライアントツール「店頭FXナビゲーター™」の訴求等により、顧客開拓を図る。
- ✓ 取引所FXのニーズを捉え、大証FXの取引数量およびシェアは順調に増加。

当社店頭FX収益および当社店頭FX約定金額



当社大証FX取引数量およびシェア

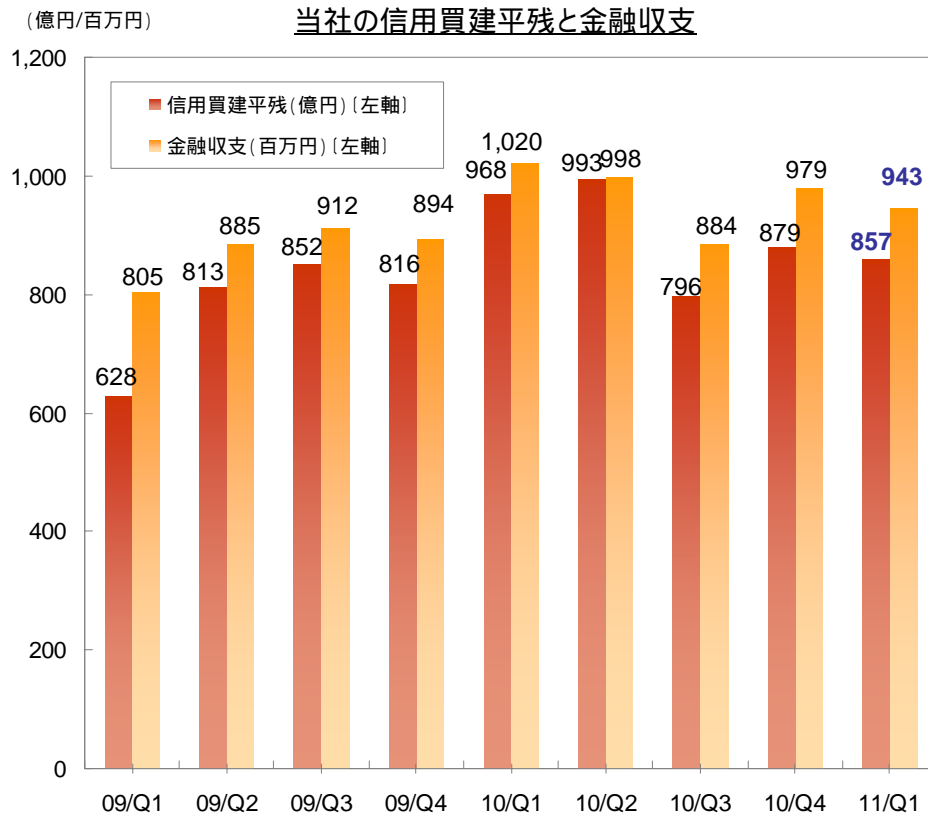


店頭FX全体約定金額は、金融先物取引業協会公表資料より。

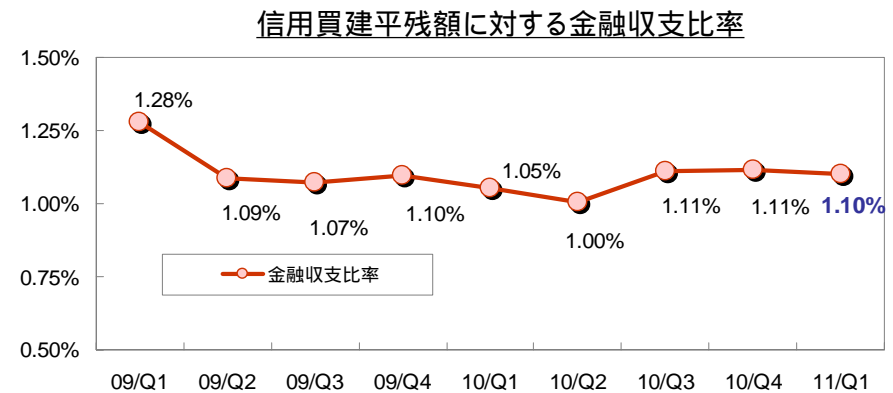
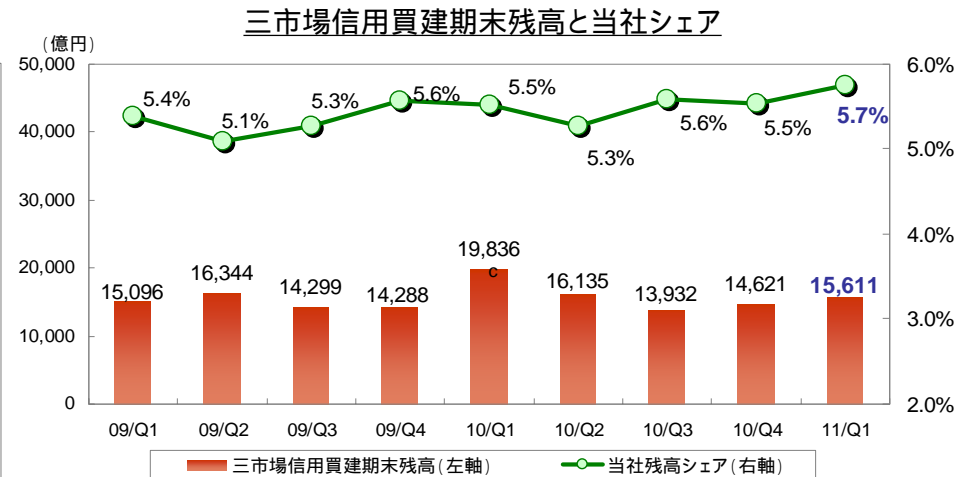
大証FX取引数量およびシェアは、大阪証券取引所公表資料より当社算出。大証FXシェアは、(当社取引数量) ÷ (大証FX取引数量 × 2) で算出したもの。

## 金融収支・信用建玉残高

- ✓ 貸株配当に係る収支増加があったものの、信用買建平残が857億円と前四半期比2%減少したこと、および信用取引の回転率が低下したこと等により、金融収支は943百万円と前四半期比4%減少。信用買建残高シェアは5.7%と過去2年で最高。



当社信用買建平残は、当社信用取引貸付金の日次残高の単純平均値  
 三市場信用買建期末残高は東京証券取引所公表数値  
 金融収支比率は当該計算期間の金融収支額(金融収益-金融費用)を、  
 当社信用買建平残により除した比率



# ・当期の取り組み



## 当期の主な取り組み

- ✓ 有価証券オプション(愛称:かぶオブ)を大手ネット証券初の取扱開始(4月)
- ✓ 一般信用売建可能銘柄を、非貸借銘柄含めネット証券最多に大幅拡充(5月)
- ✓ 主要ネット証券初、「大証FX」をスマートフォンにフル対応(5月)
- ✓ データセンター消費電力量15%削減を達成するサーバー機器刷新の実施(5月)
- ✓ 販売手数料無料コモディティ投信や中国・BRICs債券の毎月決算ファンドなどを拡充(6月)
- ✓ ネット証券4社専用投資信託ファンドの新規設定(6月)
- ✓ 保証金シミュレーターに新機能を追加(6月)
- ✓ 高機能スクリーニングツール「kabuナビ<sup>TM</sup>」の提供開始(6月)

-----

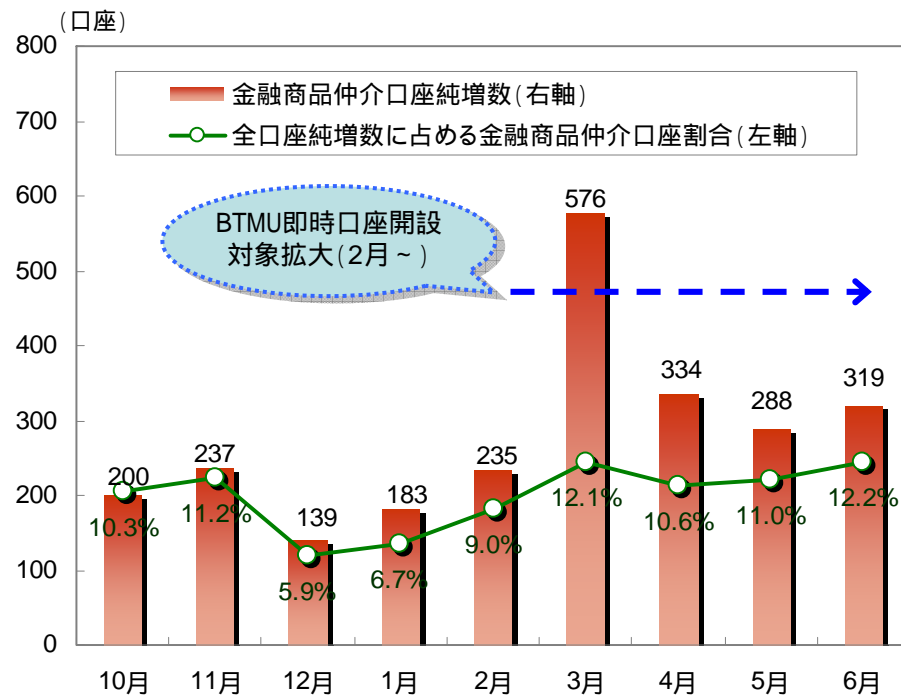
### (当期以降の取り組み)

- ✓ 主要ネット証券初、投信お問合せ専用フリーダイヤル「投信あんしんダイヤル」の開始(7月)
- ✓ kabuステーション<sup>TM</sup>「フル板」無料利用条件拡大、利用料値下げ、ニュース情報拡充(7月)
- ✓ 大証FX手数料を主要ネット証券最低水準に値下げ(7月)
- ✓ 主要ネット証券初、取引所FX「くりっく365」の取扱開始(7月)
- ✓ iPhone/Androidスマートフォン専用高機能アプリケーション「kabu smart<sup>TM</sup>」提供(8月予定)

## 三菱東京UFJ銀行との金融商品仲介事業の取り組み

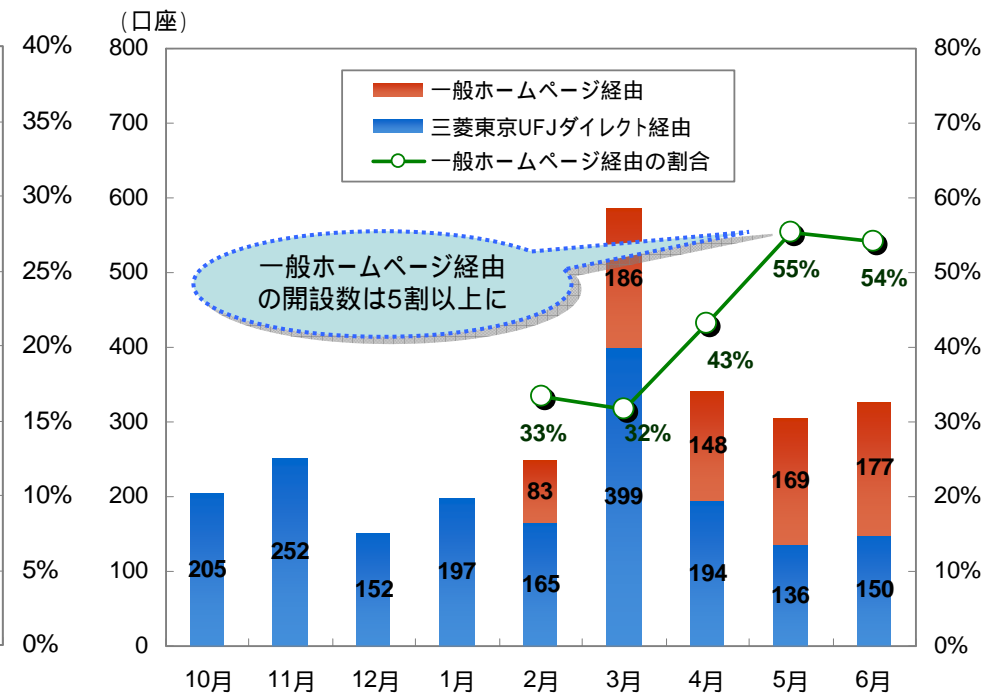
- ✓ 三菱東京UFJ銀行の口座保有者全て(キャッシュカード保有が前提)が一般ホームページ経由で即時口座開設可能になったことで、口座開設者の半数以上が一般ホームページ経由に。
- ✓ 引き続き三菱東京UFJ銀行との連携を進め、顧客基盤の強化に努める。

金融商品仲介口座数純増数 と全口座純増数に占める割合



口座純増数は、(口座開設数) - (口座抹消数)にて計算。

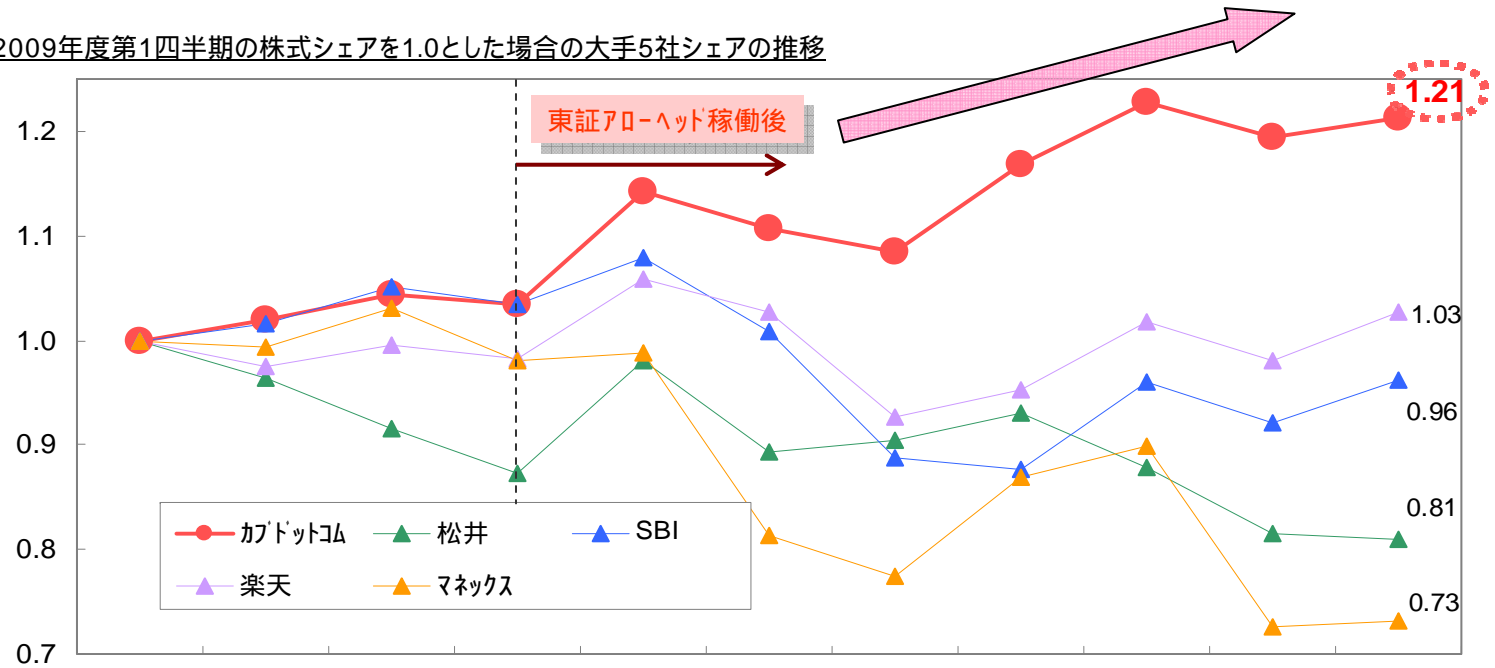
開設チャンネル別 三菱東京UFJ銀行からの仲介口座開設数



# 株式シェア上昇の取り組み

- ✓ 5月、6月の株式シェアは、大手5社中**3位**に上昇。
- ✓ アローヘッド稼働以降、大口を中心とした信用取引の取り組みも奏功し、順調にシェアを拡大。

2009年度第1四半期の株式シェアを1.0とした場合の大手5社シェアの推移



	09/1Q	2Q	3Q	4Q	10/1Q	2Q	3Q	4Q	11/4月	5月	6月
カブドットコム	6.0%	6.1%	6.3%	6.2%	6.8%	6.6%	6.6%	7.0%	7.4%	7.2%	7.3%
松井	8.7%	8.4%	8.0%	7.6%	8.5%	7.8%	7.9%	8.1%	7.6%	7.1%	7.0%
SBI	35.3%	35.8%	37.1%	36.5%	38.1%	35.6%	31.5%	30.9%	33.8%	32.5%	33.9%
楽天	14.8%	14.4%	14.8%	14.6%	15.7%	15.2%	13.8%	14.1%	15.1%	14.5%	15.2%
マネックス	8.9%	8.9%	9.2%	8.9%	8.8%	7.3%	7.0%	7.8%	8.0%	6.5%	6.5%

東京証券取引所公表資料、大阪証券取引所公表資料、各社公表資料より当社算出。

09Q1～10Q1のマネックス証券には、合併前のオリックス証券分を含む。

## 投資信託の取り組み

- ✓ 7月より、主要ネット証券初、投資信託お問合せ専用「**投信あんしんダイヤル**」を設置。
- ✓ 「資産倍増プロジェクト」によるインターネット証券専用投資信託の募集を開始。
- ✓ ノーロード投信を中心に銘柄拡充、WEBでの**ファンド検索機能強化**、主要ネット証券唯一の**携帯チャンネル・スマートフォン対応**などで個人投資家の資産形成をサポート。

「投信あんしんダイヤル」の設置



「資産倍増プロジェクト」インターネット証券4社専用ファンドの取り扱い状況

ファンド名	販売手数料	信託報酬	委託会社
「ネット証券専用ファンドシリーズ 日本応援株ファンド(日本株)」	無料	1.05%	三菱UFJ投信
「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興国中小型株ファンド」	無料	1.995%	DIAMアセットマネジメント
「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型」	無料	1.657%	DIAMアセットマネジメント

✓ ネット専用の投資信託を低コストで個人投資家に提供

ファンド検索画面(WEB版)



「スマート版」投資信託サイトイメージ



## FXの取り組み

- ✓ 7月4日より「くりっく365」の取扱開始。主要ネット証券で唯一、店頭FXのみならず全ての取引所FXを取り扱い、FXをフルラインアップ。
- ✓ 8月1日からのレバレッジ規制(上限25倍)の影響は限定的の見込み。

主要ネット証券の店頭FX・取引所FX取り扱い状況

	カブドットコム	SBI	楽天	松井	マネックス
くりっく365		×	×	×	×
大証FX		×	×		
店頭FX					

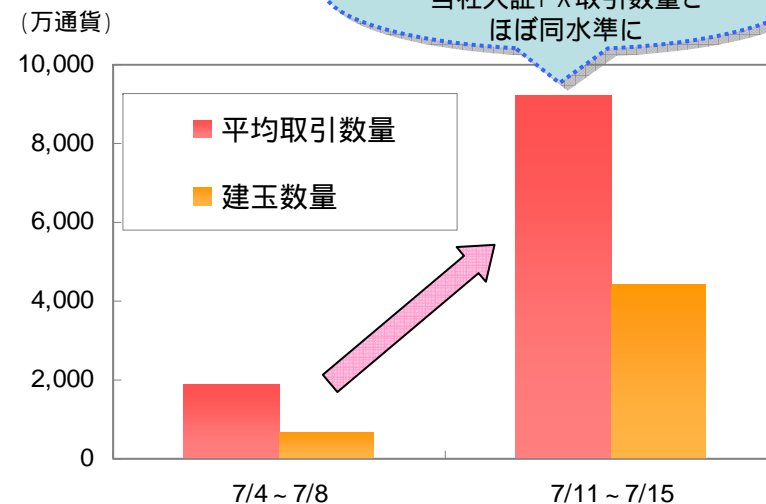
2011年7月22日現在。各社ホームページ等より当社作成。

- ✓ 主要ネット証券で唯一FXをフルラインアップ。本年8月1日からのレバレッジ規制を控え、取引所FXにも注力。

レバレッジ規制(上限25倍)の影響

- ✓ 上限25倍規制による影響は約定金額ベースで10%未満の見込みであり、当社収支への影響は限定的。

くりっく365の取引状況



取り扱い2週目で  
当社大証FX取引数量と  
ほぼ同水準に

- ✓ くりっく365口座数は1,609口座(7月19日現在)
- ✓ WEBの他、モバイル、スマートフォンでも取引可能
- ✓ トレーディングツール「365FXナビゲーター™」を無料提供

## スマートフォンの取り組み

- ✓ スマートフォンでも投資信託、FX (取引所FX、店頭FX) 等の取引が可能。
- ✓ 8月より、ポートフォリオの一元管理や投資カレンダー等を提供するiPhone / Android専用高機能アプリケーション「kabu smart™」を無料提供予定。(当社口座非保有者も利用可能)

### スマートフォン取り扱い商品

- ✓ 現物株式
- ✓ 信用取引
- ✓ 先物取引(大証、東証)
- ✓ オプション取引(大証)
- ✓ 店頭FX
- ✓ 大証FX
- ✓ くりっく365
- ✓ プチ株
- ✓ 投資信託
- ✓ 外貨建MMF
- ✓ カバードワラント

スマートフォン(スマート版)でも  
PCサイトとほぼ同様の商品を  
ラインアップ



カブドットコム証券なら  
iPhoneでもAndroidでも  
専用サイトでさくさく取引



### kabu smart(イメージ)

<マーケット情報>



<ポートフォリオ>



# ・ 経営目標

## 経営目標 ～ ROEと配当方針～

### 経営目標の基本的な考え方

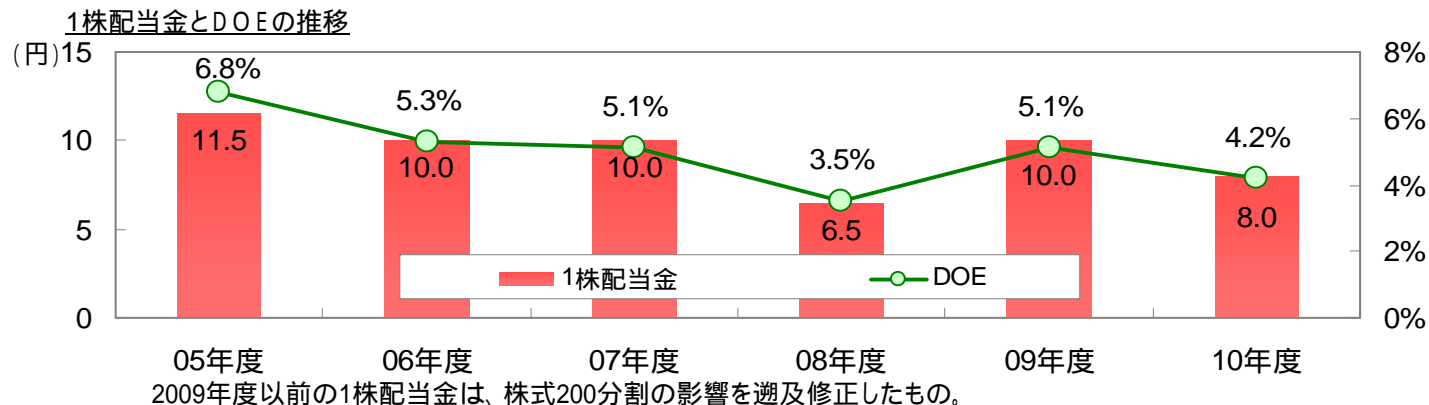
- ✓ 当社は、企業価値最大化のためには「自己資本に対する利益率の向上」と「積極的な株主還元」がその基盤になると考えております。

### ROE

- ✓ 利益率指標としてROE(自己資本当期純利益率)を採用し、ROE20%を経営目標としています。
- ✓ 当期のROEは6.4%と目標を下回っており、収益増強、経営効率・資本効率の向上が課題と認識しております。

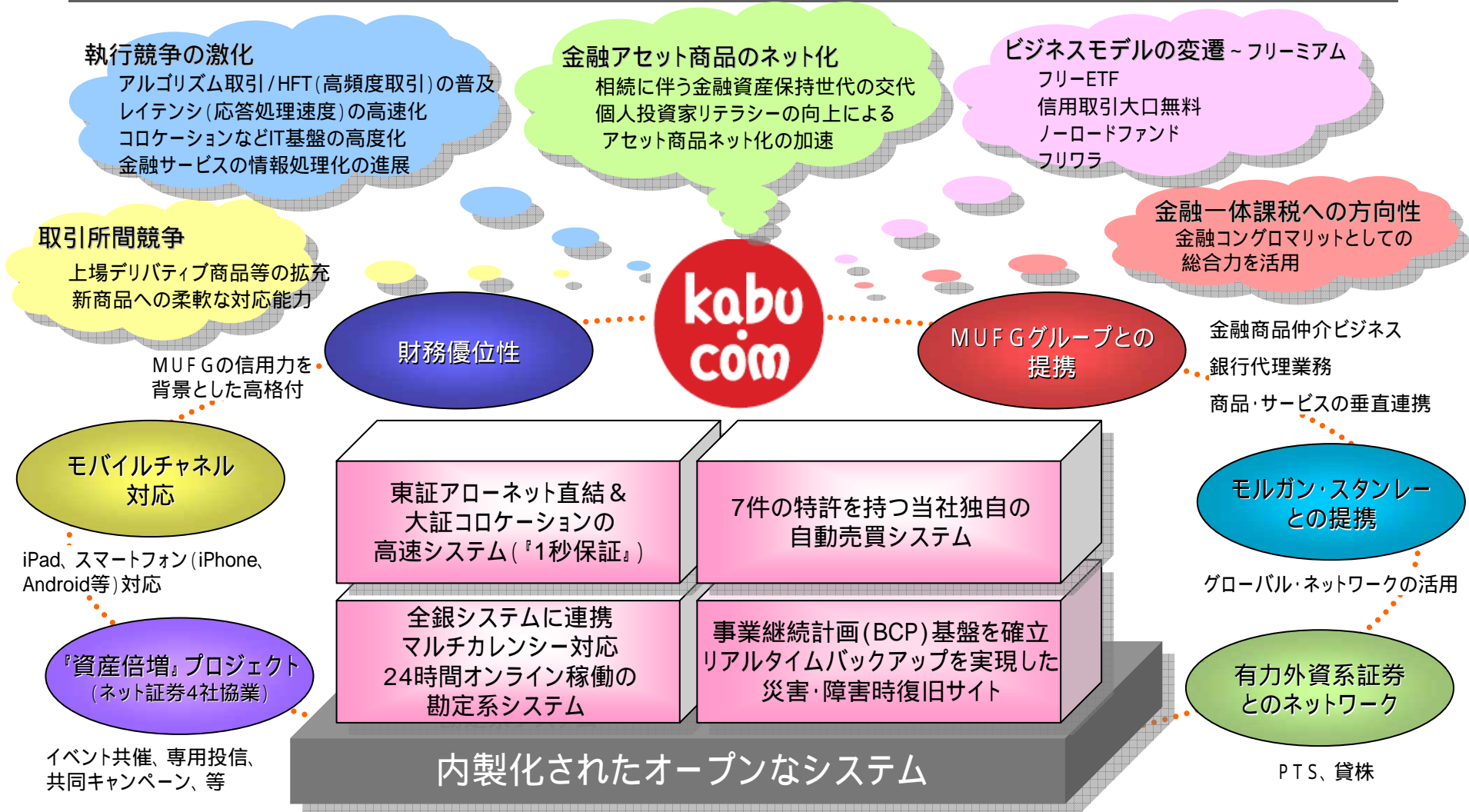
### 配当方針

- ✓ 利益率に見合った配当を定量的にバランスをもっておこなうため、配当方針を、「配当性向30%以上かつDOE(株主資本配当率)4%以上」としています。ROE20%の達成により、欧米標準であるDOE6%を目指してまいります。





# 経営環境と当社の戦略



「競争ルールの転換」後への布石  
 ~ 時代のニーズを支える強固なIT基盤・財務基盤と金融コングロマリット総合力 ~

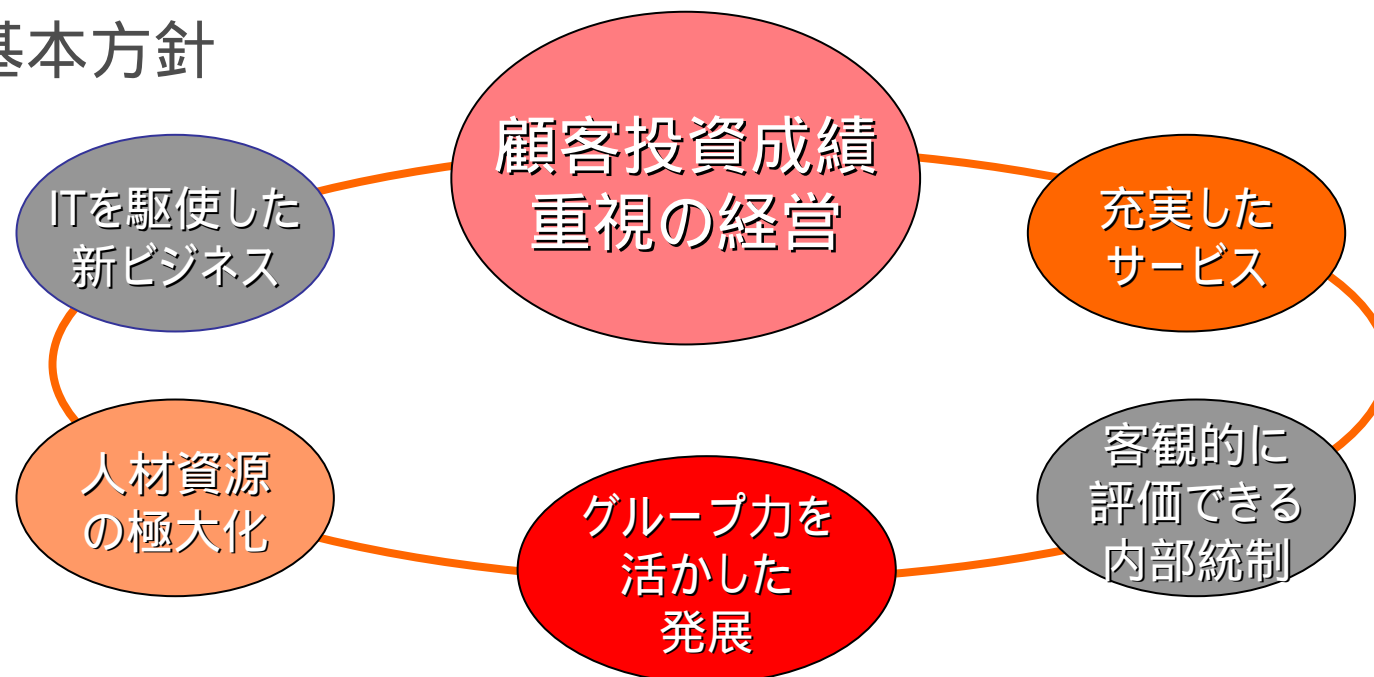
## 経営理念・経営方針

### 経営理念

### 顧客投資成績重視の経営

個人投資家へ「リスク管理追求型」というコンセプトのもと、利便性と安定性を徹底的に追求した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供します。

### 経営基本方針

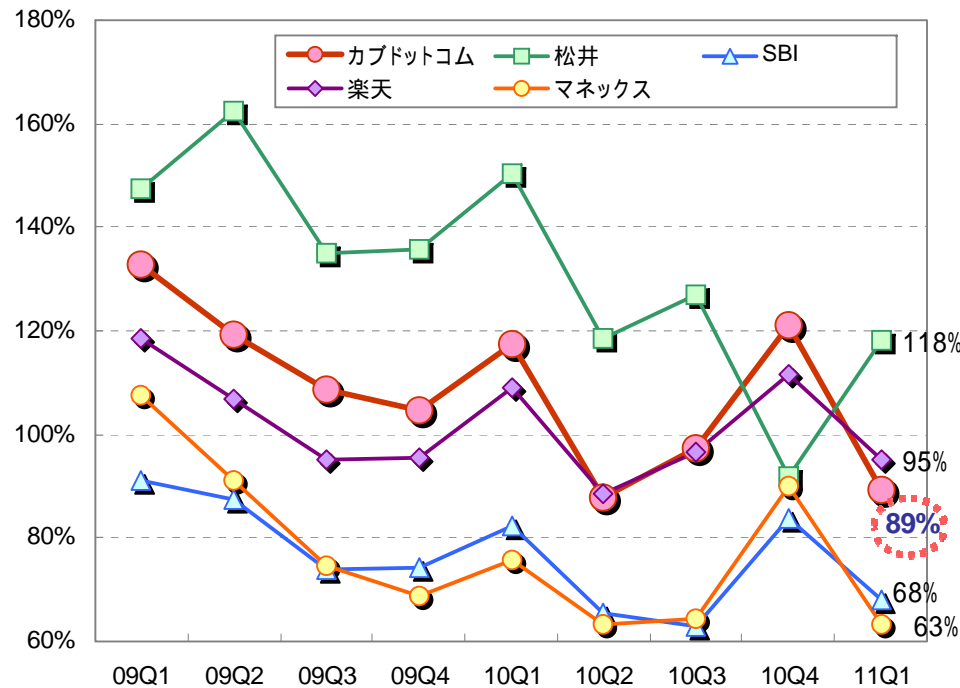


# ・ その他 (業務計数等)

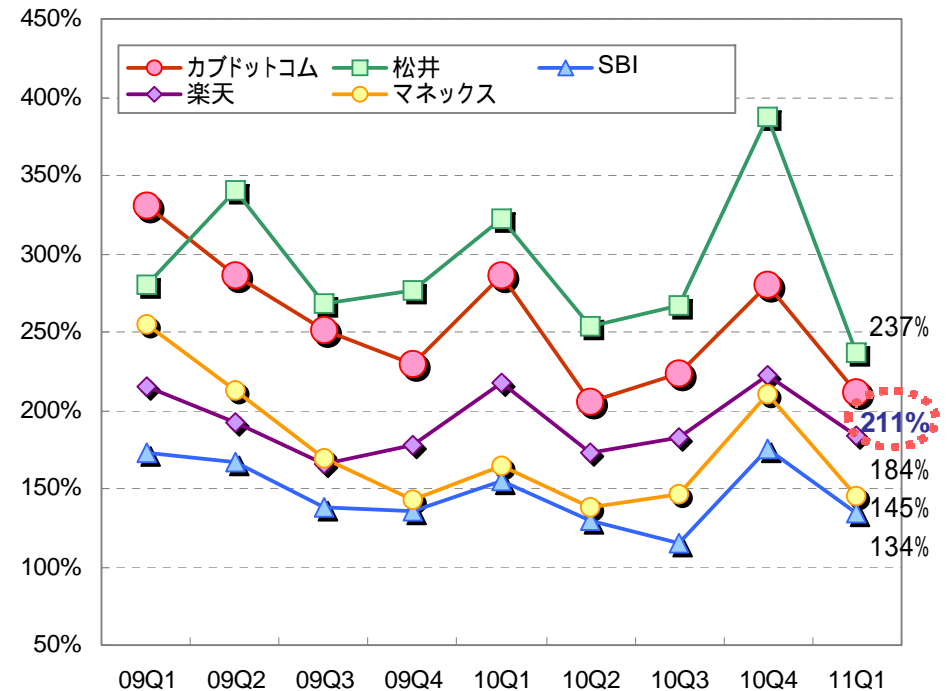
## コストカバー率(受入手数料ベース)

✓ 販管費は減少したものの、株式手数料の減少等により、コストカバー率は低下。

コストカバー率 (受入手数料/販管費)



コストカバー率 (受入手数料/システム関連費)



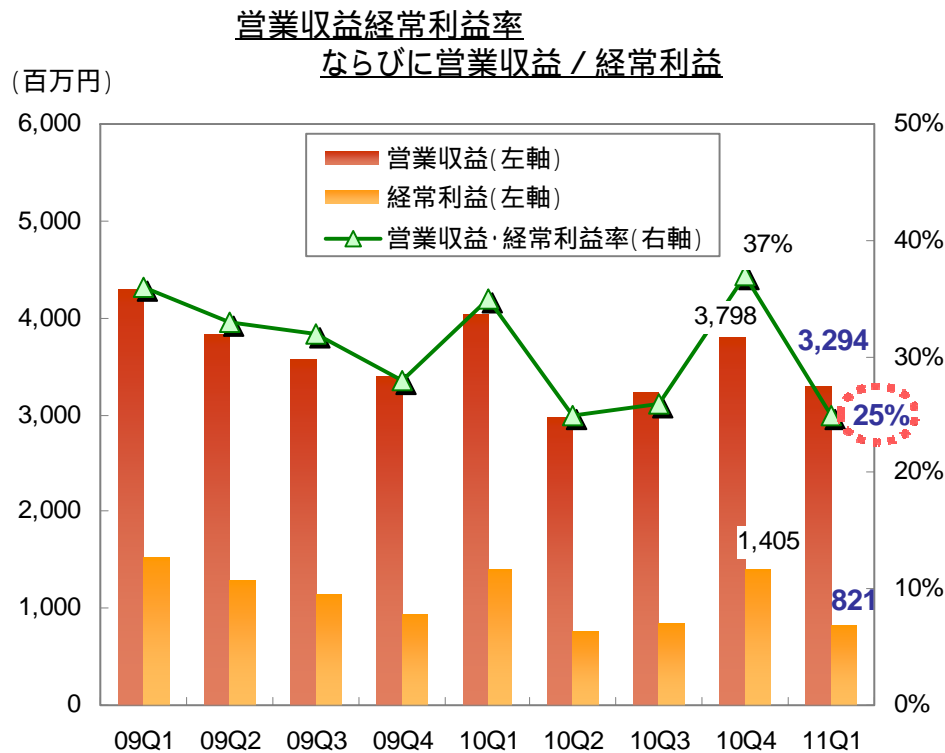
各社開示資料より当社算出

楽天証券は、楽天証券(個別)の決算公表資料より当社算出

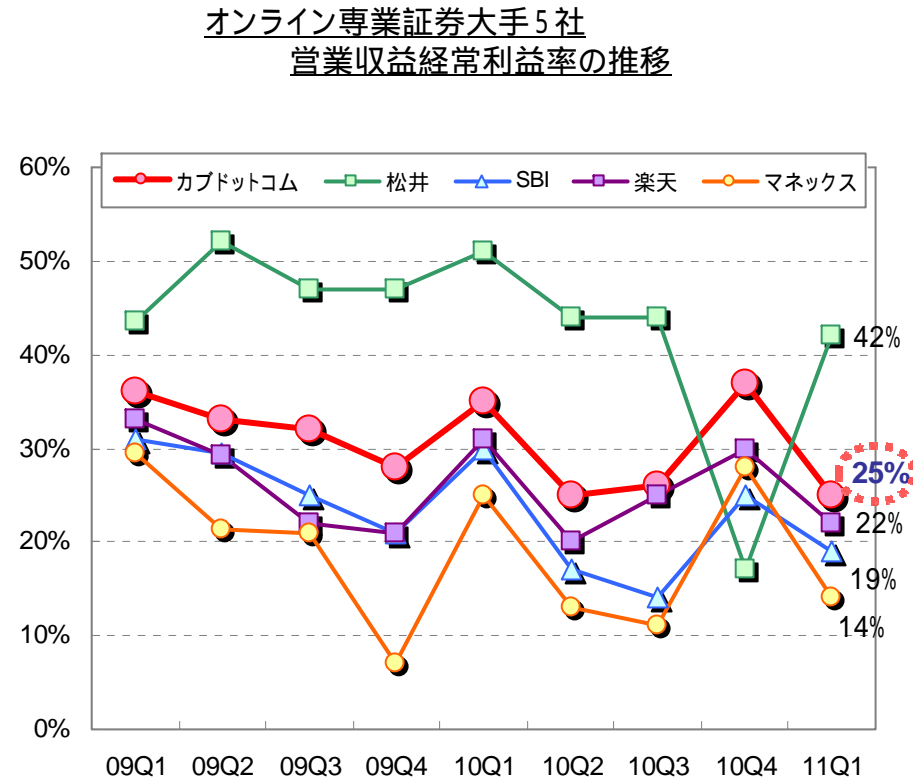
システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

# 営業収益経常利益率

- ✓ 手数料収入の減少等により、営業収益経常利益率は25%と前四半期比低下。



営業収益経常利益率は、四半期毎の営業収益、経常利益で算出

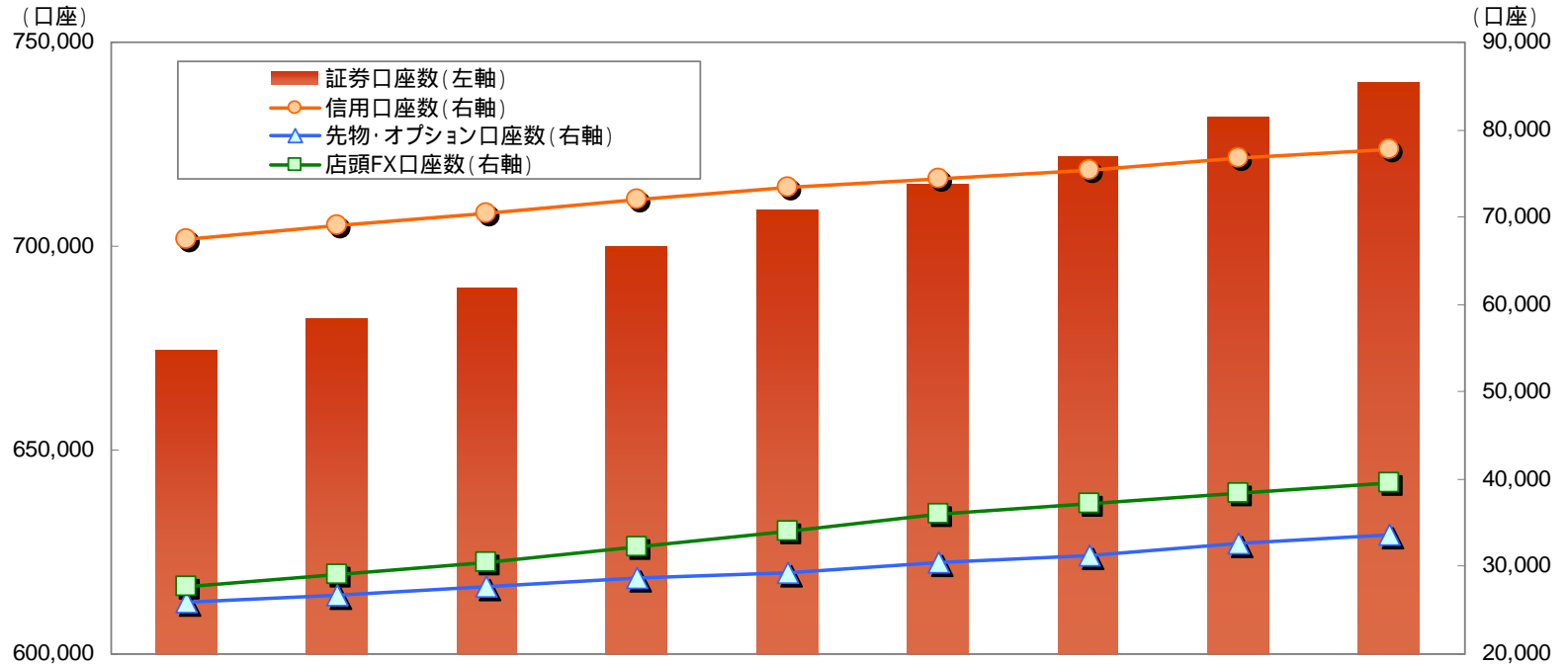


各社開示資料より当社算出

楽天は、楽天証券(個別)の決算公表資料より当社算出

## 口座数 ( 抹消済口座数を除いた取引可能口座数)

- ✓ 当四半期末の証券口座数は740,266口座。三菱東京UFJ銀行経由の仲介口座獲得数も増加、顧客基盤の更なる強化を進める。

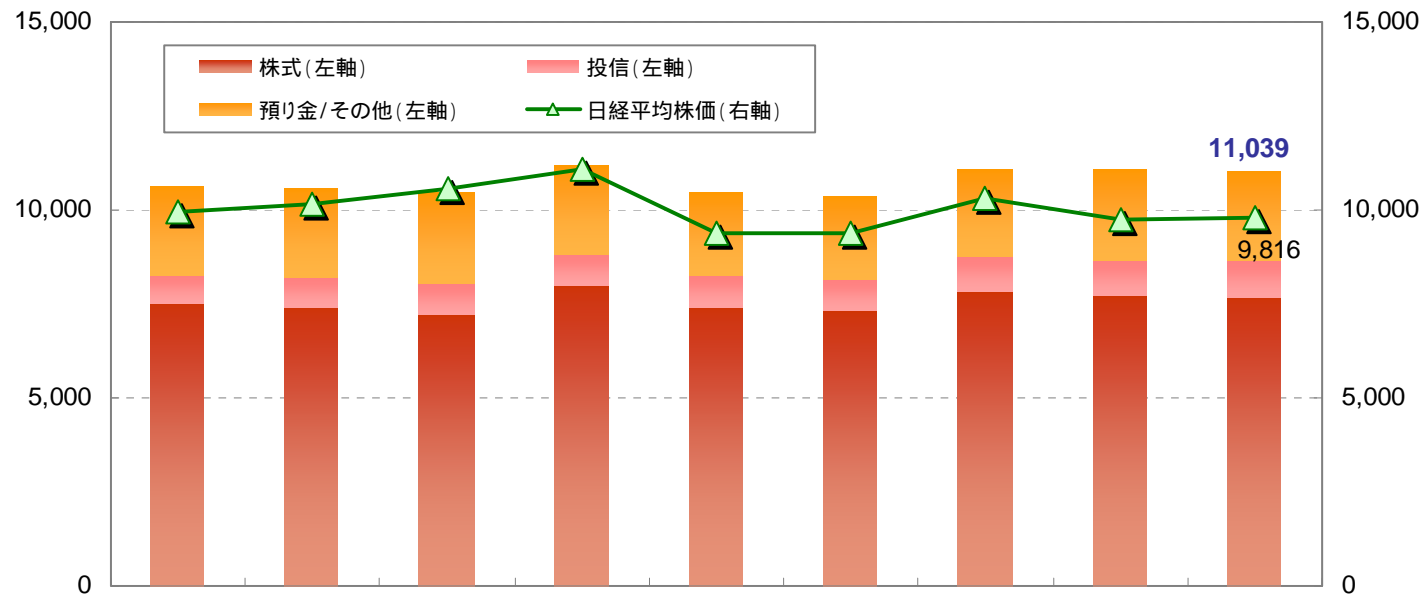


	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
証券口座数	674,659	682,289	690,015	700,162	708,753	715,421	721,823	731,891	740,266
信用口座数	67,516	68,941	70,430	72,007	73,341	74,406	75,354	76,832	77,814
先物・オプション口座数	25,906	26,821	27,767	28,604	29,366	30,503	31,218	32,595	33,641
店頭FX口座数	27,642	29,166	30,478	32,199	34,027	35,297	37,199	38,460	39,534
(参考)証券口座抹消数	1,038	973	997	958	1,254	915	931	995	1,057

上記証券口座数、信用口座数、先物・オプション口座数、店頭FX口座数はすべて抹消済口座数を除いたもの

## 預り資産

- ✓ 預り資産(時価ベース)は1兆1,039億円と前四半期比ほぼ横ばい。
- ✓ 投信の預り資産は960億円となり、四半期ベースでの残高は過去最高。

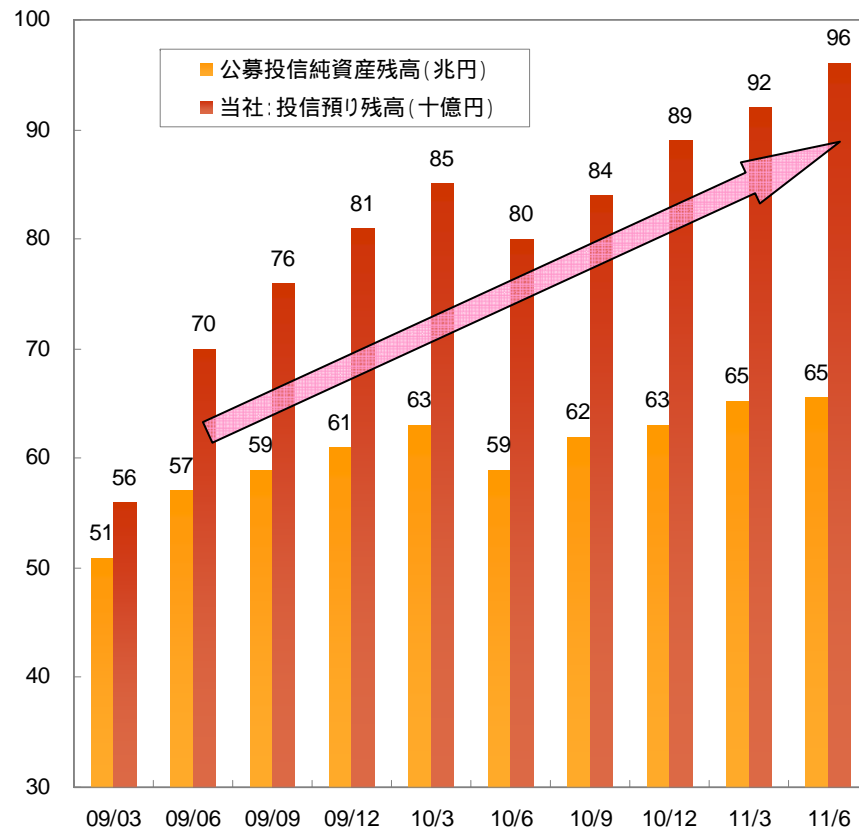


	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	比率	前四半期比
株式	7,543	7,412	7,237	7,965	7,433	7,311	7,847	7,714	7,699	70%	-0%
投信	705	763	812	856	803	848	893	925	960	9%	+4%
預り金/その他	2,380	2,409	2,421	2,384	2,222	2,214	2,356	2,454	2,379	22%	-3%
合計	10,629	10,585	10,471	11,207	10,459	10,374	11,098	11,093	11,039	100%	-0%
(参考)日経平均	9,958	10,133	10,546	11,089	9,382	9,369	10,303	9,755	9,816		+1%

## 投信預り資産とETF

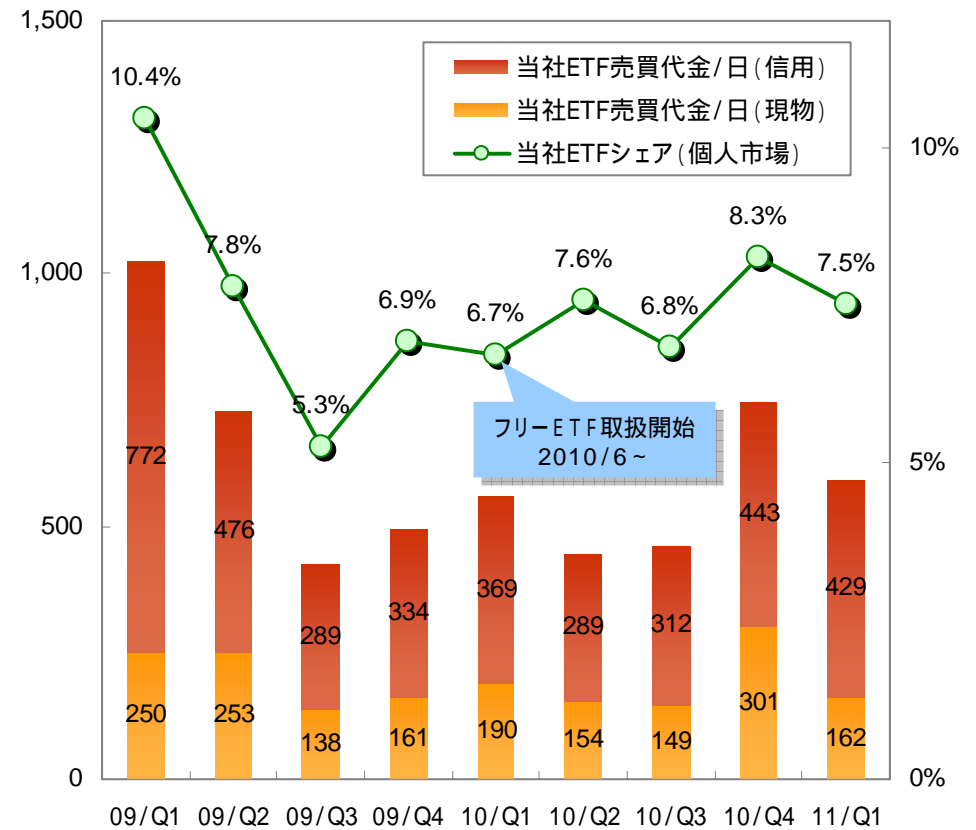
- ✓ 国内投信純資産残高はほぼ横ばいだが、当社投信預り残高は増加続く。投信もネットへの流れ。
- ✓ フリーETFの取り組みなどにより、ETFシェアの増加も図っていく。

日本の個人投資信託資産残高と当社投信預り資産



投資信託協会資料より当社作成

(百万円) 当社ETF売買代金(1日あたり)と個人ETF市場シェア



東京証券取引所、大阪証券取引所公表資料より当社算出



## 株式差引入庫額

- ✓ 株式差引入庫額は4,652百万円と入庫超過。
- ✓ ネット大手4社間の差引入庫額は1,320百万円と前四半期に続き10億円超の入庫。対面大手3社、その他の証券会社・信託銀行からも引き続き入庫超。

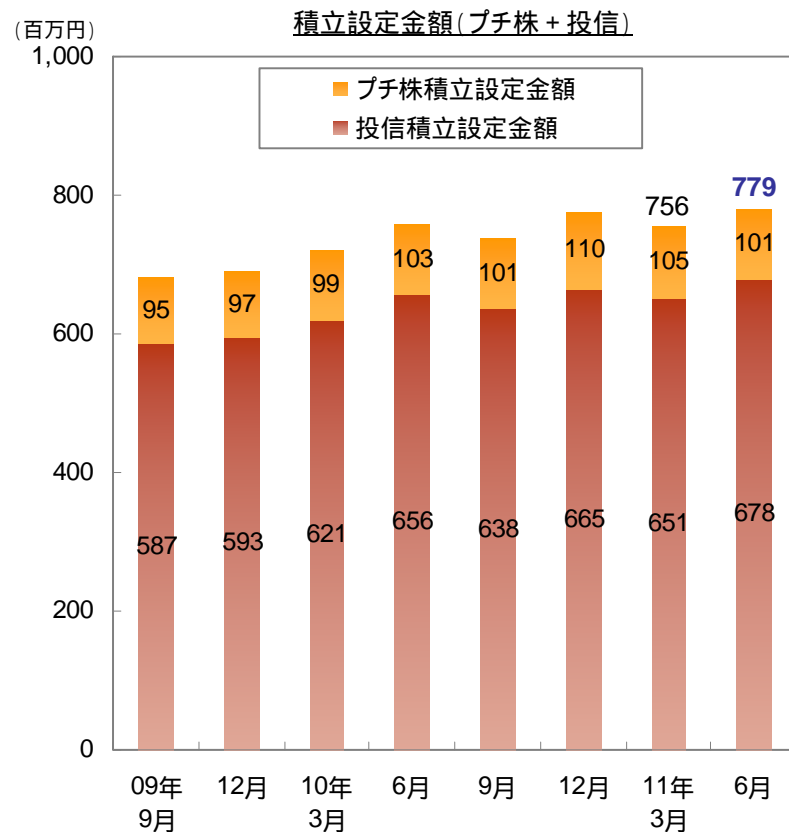
(単位:百万円)

	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
A証券	286	72	-15	316	76	-53	87	46	405
B証券	-269	-394	-3,739	-473	-1,096	-320	-235	-157	-34
C証券	19	59	-52	-78	-80	-703	45	84	995
D証券	296	502	147	160	735	7	17	1,053	-45
ネット大手4社 計	333	239	-3,659	-75	-364	-1,069	-86	1,027	1,320
X証券	337	115	1,096	3,382	429	188	242	1,556	218
Y証券	129	-1,449	43	-49	97	8	-42	-364	411
Z証券	239	119	533	1,115	284	217	630	510	95
対面大手3社 計	706	-1,215	1,671	4,448	810	414	829	1,702	725
その他証券・信託銀行	3,996	4,661	3,426	1,683	2,481	2,432	2,403	3,767	2,606
振替差引入出庫額	5,034	3,686	1,438	6,056	2,928	1,776	3,147	6,496	4,652

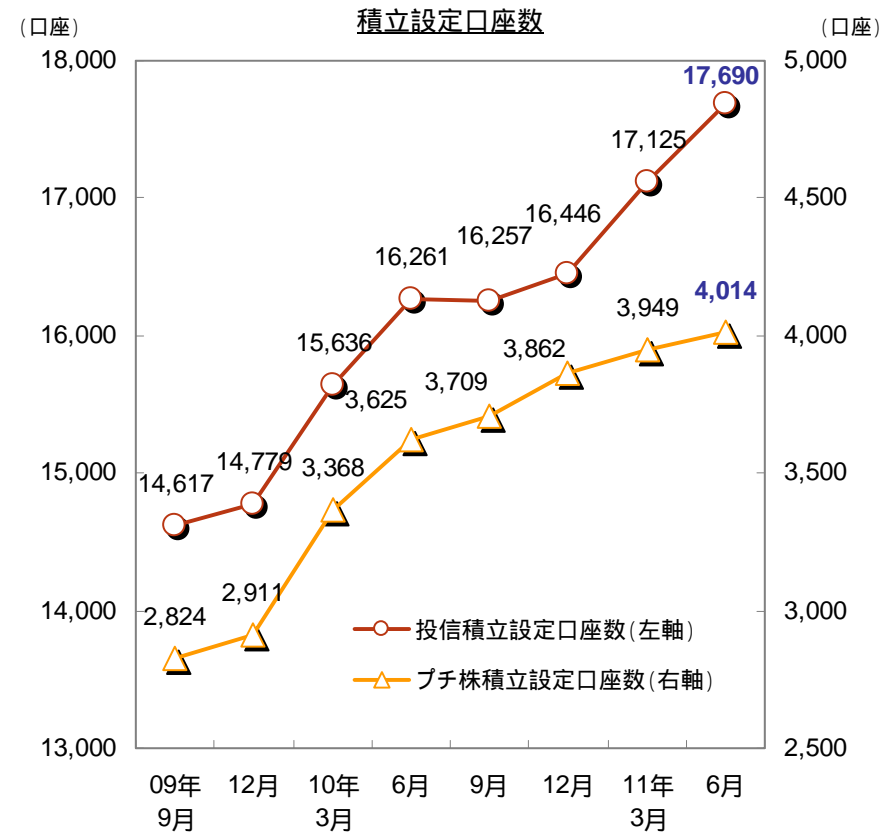
株式差引入庫額は、「他社から当社への入庫額 - 当社から他社への出庫額」にて算出  
 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理月の月末時点の時価にて換算

## 投信・プチ株積立実績

- ✓ 当四半期末時点での投信、プチ株®の積立設定合計額は779百万円。
- ✓ 投信、プチ株®ともに積立設定口座数も増加し、積立サービスは浸透。



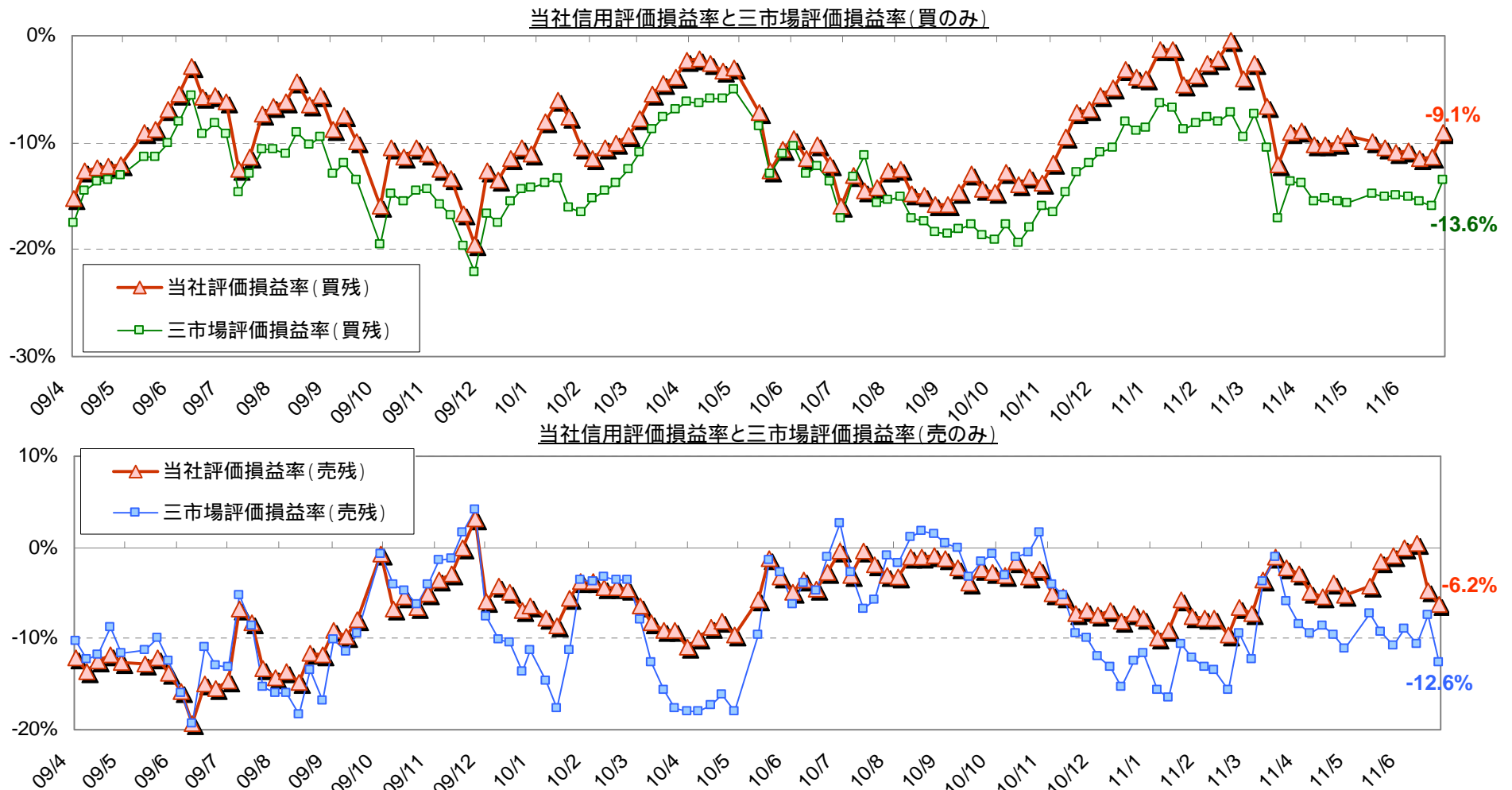
積立設定金額は月間の積立設定金額の合計  
(グラフ上部数字は投信積立とプチ株積立の合計値)



積立設定口座数は月間の積立設定口座の口座数

# 信用評価損益率

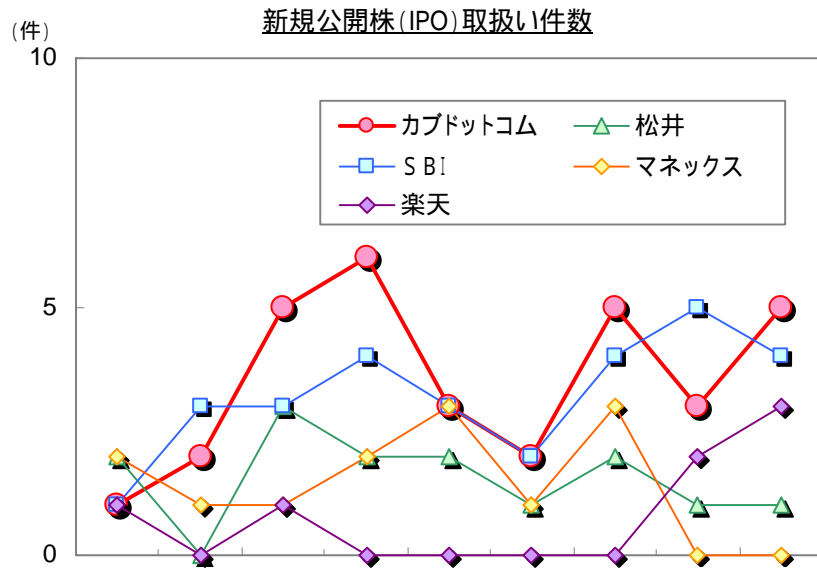
✓ 三市場信用評価損益率との較差は、当四半期中はプラスを堅持。



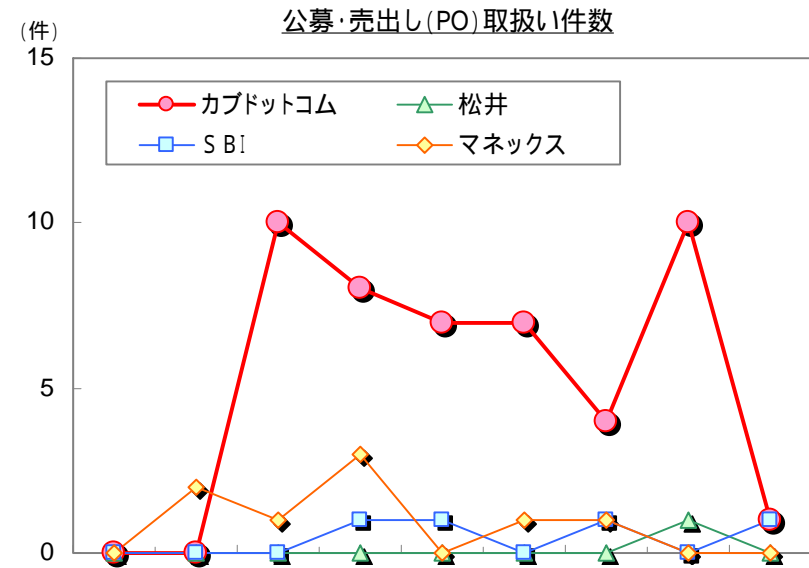
三市場評価損益率は、東京証券取引所公表資料より当社算出  
 三市場、当社ともに信用評価損益率は、「評価損益率 = 評価損益 ÷ 信用建玉残高」にて算出  
 グラフは、三市場、当社ともに各週最終営業日の信用評価損益率を表している。なお、2009年9月第4週の三市場評価損益率は公表されていない。

## IPO・PO取扱い件数

- ✓ IPO・POの取扱い件数は引き続きオンライン証券大手トップ水準。
- ✓ MUFGグループの強みを活かし、三菱UFJ・モルガン・スタンレー証券との連携により、今後もIPO・POの取扱い拡充を図る。



	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
カブドットコム	1	2	5	6	3	2	5	3	5
松井	2	0	3	2	2	1	2	1	1
SBI	1	3	3	4	3	2	4	5	4
マネックス	2	1	1	2	3	1	3	0	0
楽天	1	0	1	0	0	0	0	2	3



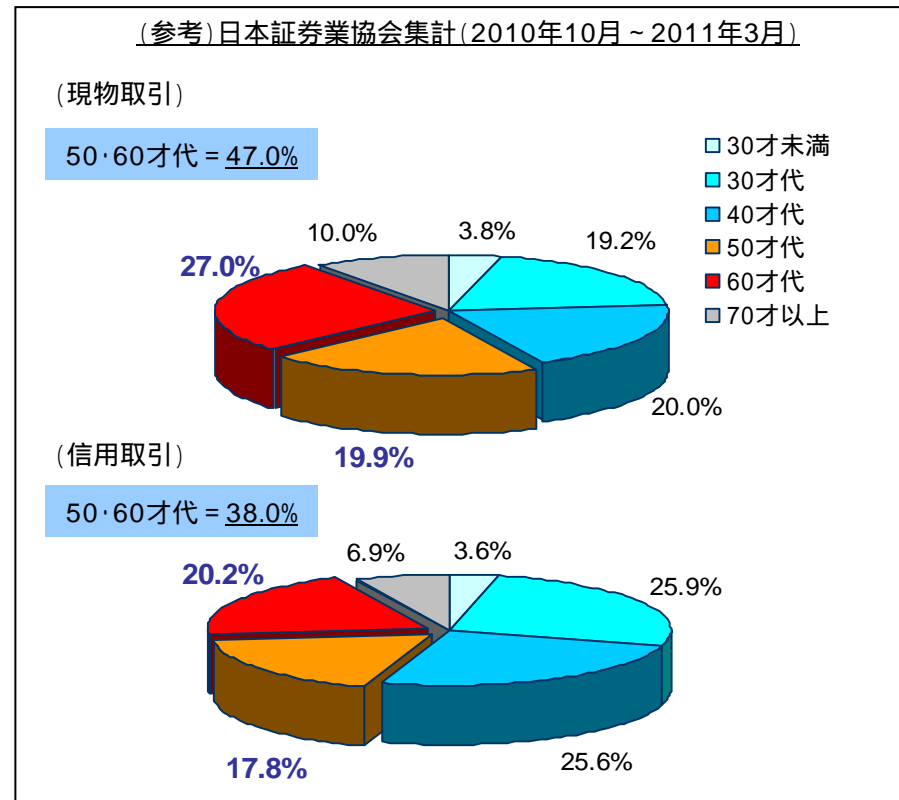
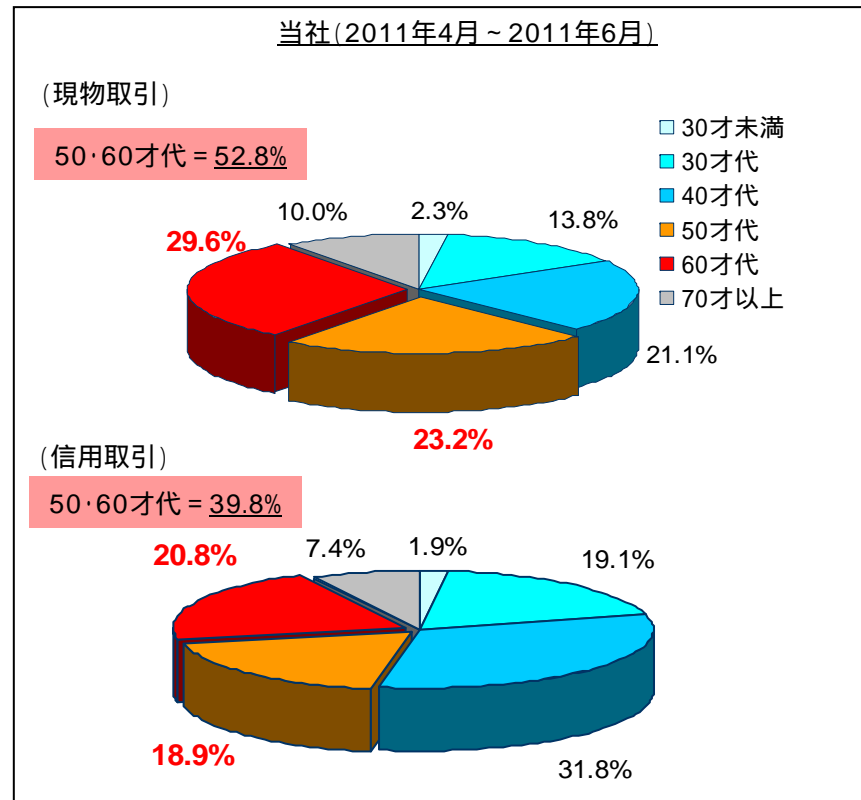
	2010年3月期				2011年3月期				2012年3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
カブドットコム	0	0	10	8	7	7	4	10	1
松井	0	0	0	0	0	0	0	1	0
SBI	0	0	0	1	1	0	1	0	1
マネックス	0	2	1	3	0	1	1	0	0

各社ホームページ等公表資料より当社集計。IPO銘柄は上場日、PO銘柄は株式交付日でカウント。  
 マネックス証券の数値には旧オリックス証券分を合算。楽天証券のPO(公募/売出)取扱件数は非公表。

## 年代別株式取引の状況 ～ 団塊世代の取込み～

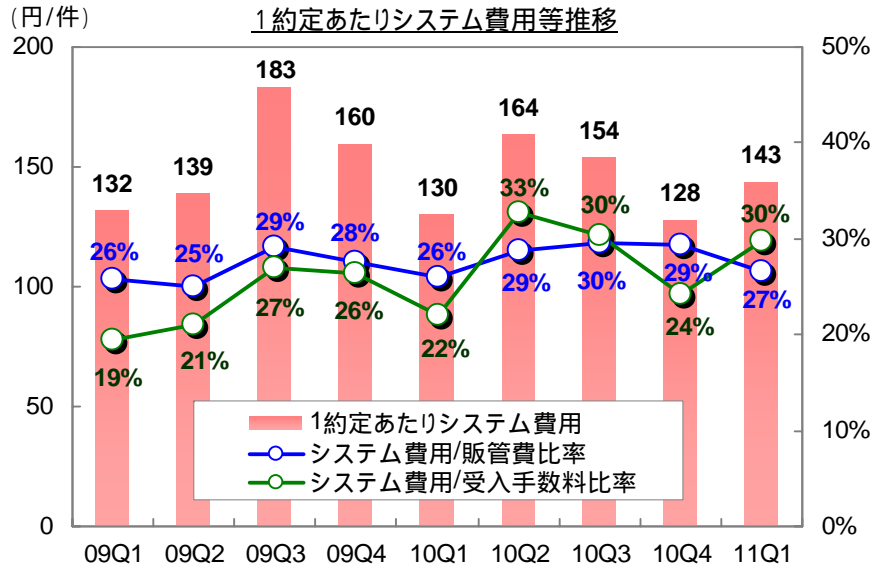
- ✓ 退職・相続などに伴い、今後は投資/PCリテラシーが高い団塊世代のオンライン取引の活発化が期待できる外部環境に。
- ✓ 当社の団塊世代前後(50代～60代)の取引シェアは、シニア割引などのマーケティング施策やMUFGブランドなどにより、他社に比べて高め。
- ✓ 退職・相続等により、大手対面証券等に滞留する金融資産が団塊世代に移転されると期待。

年代別インターネット株式取引金額



日本証券業協会公表数値より当社算出 (現物取引:回答44社、信用取引:回答48社)

## システム関連の開示



### 主な設備増強・基盤整備 (2011年4月-6月)

月日	設備増強・基盤整備の詳細
4月～6月	サーバ機器の入替えおよび統合を推進し、東京システムセンターの電力利用量の15%削減を達成しました。
5月13日	スマートフォンに最適化したスマートフォン版大証FXのお取引・情報サービスの提供を開始いたしました。主要ネット証券初の「大証FX」スマートフォン完全対応であるとともに、当社の誇る自動売買の他、FOK注文やベストレート注文など大証FXならではの条件注文にも完全対応しております。
6月16日	「保証金シミュレータ」がバージョンアップ。新機能「評価金額シミュレーション」「入出金シミュレーション」を追加いたしました。
6月30日	銘柄選びを強力にサポートする最新のスクリーニングツール「kabuナビ」の提供を開始いたしました。170を超える詳細な条件設定が可能でグラフィカルな表示、チャート・財務・ニュースなど6種類の表示でのチェックが可能です。

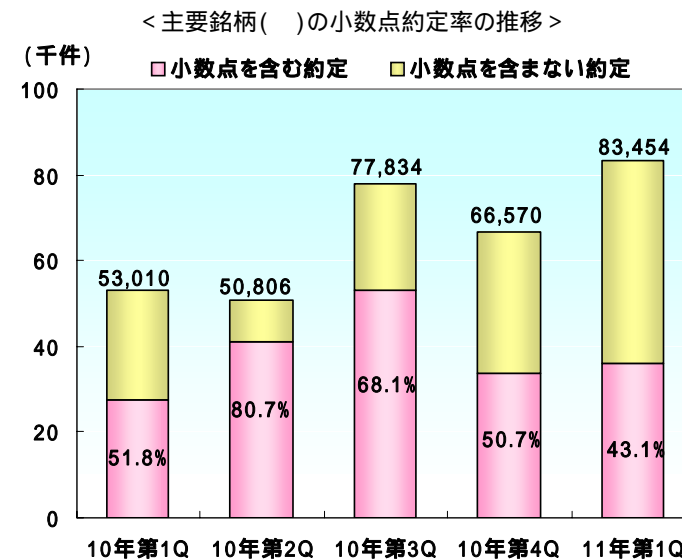
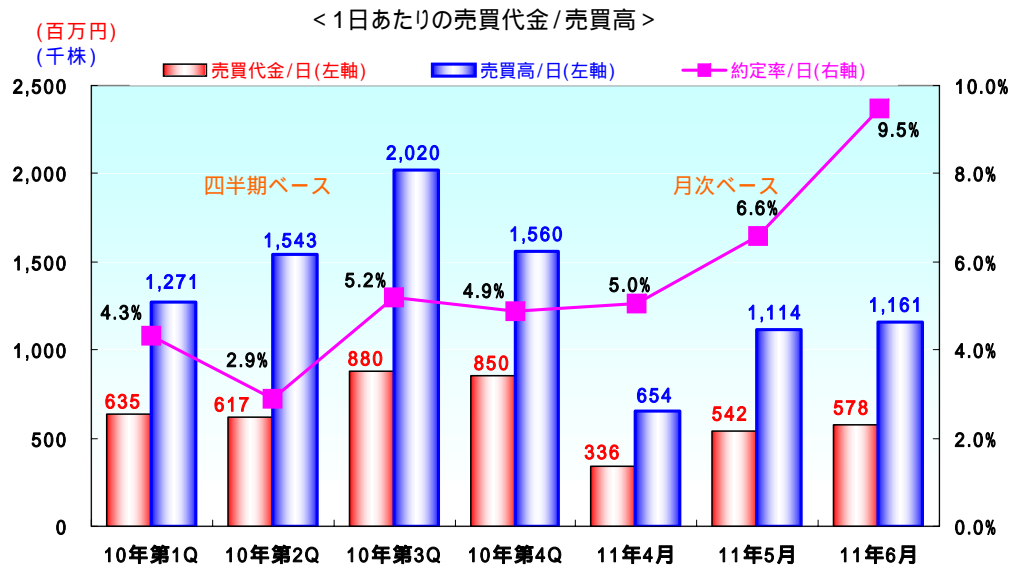
### 主なシステム障害 (2011年4月-6月)

月日	内容	影響範囲	原因と対処
4月25日	7:30頃～12:05頃の間、ログインが行えない、もしくは非常に時間がかかる状況となりました。	約2,200名のお客さま	4/23(土)に稼働させた顧客情報を管理する新データベースにおいて発生したOSの不具合によるものです。OS提供ベンダーと定例で開催している不具合報告会にハードウェアベンダーも交えその対策要否判定の態勢強化を図りました。
6月21日	6/21(火)0:00頃～10:02頃の間、CME、先物・オプションのお取引、及び、断続的にログインがしづらい状況となりました。また、6/22(水)0:00頃～6:23頃の間、および、6/23(木)0:00頃～2:09頃の間、お取引サービスを停止メンテナンスを実施させていただきました。	約3,900名のお客さま	勘定系データベースの不具合によるものです。週末に自動実行されるデータベース最適化処理において、先物・オプションの関連プログラムで利用しているデータ検索処理が当該不具合の発生条件に合致してしまい、当該データ検索処理が実施されることでデータベースが応答しなくなってしまう状況となりました。また、障害時等に稼働させる障害災害時専用サイトの稼働において、システム環境の不備により、その稼働が行えませんでした。勘定系データベースの不具合対策の態勢を見直すとともに、障害災害時専用サイトのシステム環境維持のためのルール、検証態勢の見直しを図ります。

## 私設取引システム(kabu.comPTS)関連の開示

kabu.comPTSは小数点での約定が定着し、約定率は過去最高値を記録

- ✓ 当四半期のkabu.comPTSは、3月の大震災以降取引が急減したものの、月次ベースで売買代金や売買高が漸増した。
- ✓ 小数点での約定率が約半数となるなど複数市場間での最良執行をベースとした電子取引が定着し、約定率も6月に約9.5%と過去最高値を記録した。



売買代金上位30銘柄のうち、基準値が5,000円以下(呼値の刻みが0.1円)の銘柄より算出

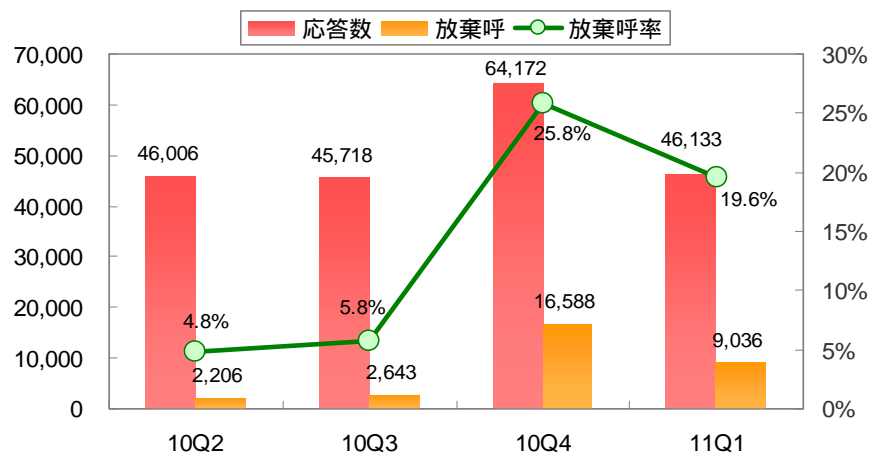
参加証券一覧(2011年6月現在11社、順不同)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券 / モルガン・スタンレーMUFG証券 / BNPパリバ証券 / クレディ・スイス証券 / UBS証券  
 メリルリンチ日本証券 / シティグループ証券 / インスティネット証券 / JPモルガン証券 / みずほ証券 / カブドットコム証券

- ✓ 日本全体におけるPTS全7社のシェアが5月に過去最高の3.02%を記録するなど、機関投資家の参加証券によるSOR(スマート・オーダー・ルーティング)の活用や最良値段に対するニーズが高まる中、個人投資家向けにも最良執行の啓蒙に努める。

## お客様サポートセンター関連の開示

お客様サポートセンターのご利用状況



当四半期では、入電件数は減少したものの、kabuステーションの設定に関するテクニカルな問合せなどが増加し、1件あたりの通話時間が延びた結果、放棄呼率は19.6%と大きな改善には至りませんでした。お待たせしてしまい申し訳ございません。

お客様サポートセンターの受賞歴



2010-2011年におけるHDIの格付けベンチマーキングで、サポートポータル・最高格付けの「**三つ星**」問合せ窓口・「**二つ星**」を獲得しました。今年度、証券業界でサポートポータル三つ星の受賞は**当社1社のみ**です。

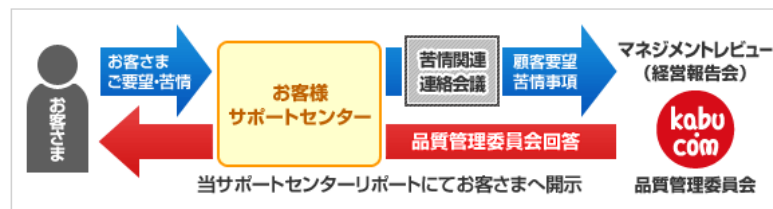
当四半期におけるご要望の実現化

**先物取引手数料を値下げしてほしい。**

6月10日(金)から、先物取引(日経225・TOPIX等)手数料をラージ462円、ミニ48.3円に大幅値下げしました。最大53%の値下げになります。

**一般信用の売建可能銘柄を増やしてほしい。**

5月12日(木)より一般信用売建可能銘柄を、非貸借銘柄含めネット証券最多銘柄数に大幅に拡大しました。在庫株数を表示する方式を採用し、これにより一般信用売建可能銘柄として大量の株数は提供できない銘柄でも一定の範囲で提供可能となりました。



当社では、国際規格であるISO10002に基づき、品質マネジメントのPDCAを徹底して実行しております。

その一環として、オペレーターがお客様よりいただきました「ご意見・ご要望」は、毎月当社品質管理委員会にて経営者に報告され、その結果サービスが改善された事項については「サポートセンターレポート」(<http://kabu.com/support/report.asp>)にて月次で開示いたしております。

また、2010年7月より、苦情管理体制を強化し、苦情対応結果の定期的な検証を行うことにより、お客様のご意見をより実務的に実現できる環境を整えました。



## 知的財産関連の開示

- ✓ 当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。

- ✓ 登録特許の件数はオンライン証券最多の12件(共同特許含む)
- ✓ 経済産業省から公表された「知的財産情報開示指針」に準拠した「知的財産報告書」を当社ホームページで開示
- ✓ 自動売買等の注文発注システムをはじめ、資産管理(自動残高維持)や金融商品仲介に関連する技術など、当社独自のサービスに関する特許を多数出願中

<参考> 当社の取得する特許

### 注文発注に関連する特許(自動売買等)

第3734168号	【自動売買】±指値(プライさしね®)の処理システム
第3754009号	【自動売買】W指値®の利益確定とロスカット幅を自動設定するUターン注文®の処理システム
第3875206号	【自動売買】当社の逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置
第3966475号	SLA(サービス品質保証制度)を実現するための技術
第4076512号	【自動売買】±指値(プライさしね®)の一部の機能を実現するための技術
第4132069号	【自動売買】Uターン注文®における一部の機能を実現させるための技術
第4420384号	【自動売買】注文制限値幅自動値段調整機能を実現させるための技術

### 資産管理に関連する特許(自動残高維持等)

第4471375号	お客さまからの預り金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術
第4542444号	お客さまからの保証金や証拠金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術

### 金融商品仲介に関連する特許(三菱東京UFJ銀行との共同特許)

第3719711号	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法
第3916242号	オンラインによる証券口座開設ならびに、開設後の自動ログインによる証券取引

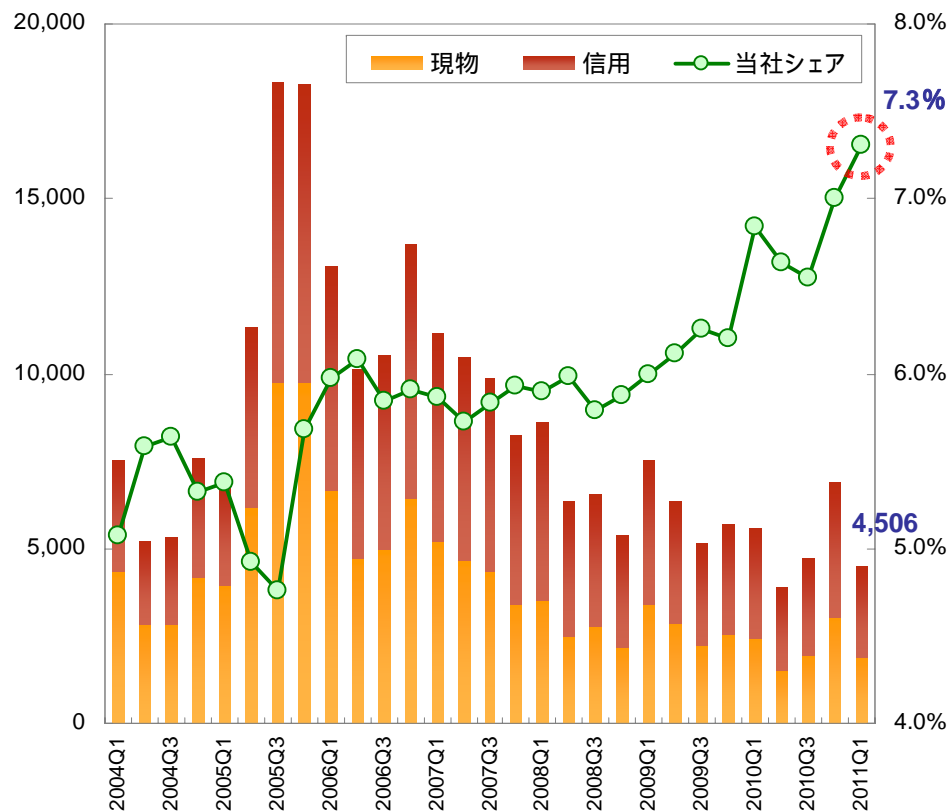
### その他の特許

第4562342号	通信ネットワークを通じて利用者の端末装置にパーソナル情報を配信する技術
-----------	-------------------------------------

## 株式個人売買代金、個人金融資産の動向

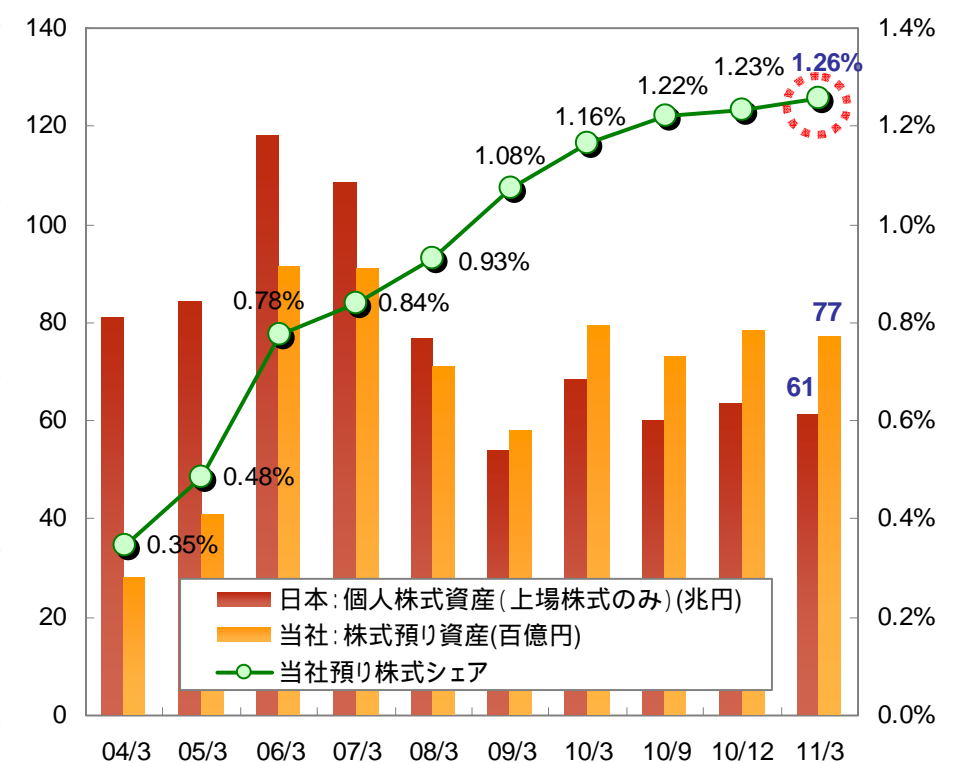
- ✓ 当四半期の1日あたり株式個人委託売買代金は4,506億円と前四半期比35%減少。
- ✓ 日本の個人金融資産1,476兆円のうち、株式(上場株式のみ)は61兆円(2011年3月末時点)。当社株式預り資産が占める割合(シェア)は引き続き増加。

(億円/日) 三市場1日あたり株式個人委託売買代金と当社シェア



東京証券取引所、大阪証券取引所公表資料より当社算出  
個人委託売買代金にはジャスダック分を含む。

日本の個人株式資産と当社株式預り資産シェア



出所: 日本銀行「資金循環統計」  
「日本: 個人株式資産」は、上場株式のみの残高  
当社預り株式シェアは、(当社預り株式残高) ÷ (日本個人株式資産) にて算出

## kabu.comは積極的な開示を続けております

IR情報	<a href="http://kabu.com/company/">http://kabu.com/company/</a>	決算・財務情報	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp">http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp</a>
業務情報（委託手数料の推移）	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp">http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp</a>		
業務情報（注文・約定情報等の推移）	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/order.asp">http://kabu.com/company/disclosure/order.asp</a>		
サポートセンターレポート	<a href="http://www.kabu.com/support/report.asp">http://www.kabu.com/support/report.asp</a>	システムレポート	<a href="http://www.kabu.com/feature/system/report.asp">http://www.kabu.com/feature/system/report.asp</a>
kabu.comPTSレポート	<a href="http://kabu.com/pts/report.asp">http://kabu.com/pts/report.asp</a>	顧客投資成績	<a href="http://www.kabu.com/company/disclosure/score.asp">http://www.kabu.com/company/disclosure/score.asp</a>
SLA精査状況	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp">http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp</a>	売買審査状況	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/">http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/</a>
コーポレートガバナンス報告書	<a href="http://kabu.com/company/governance.asp">http://kabu.com/company/governance.asp</a>		
品質管理システム報告書	<a href="http://kabu.com/company/disclosure/qms_report.asp">http://kabu.com/company/disclosure/qms_report.asp</a>		

### お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書（商品毎）および目論見書補充書面（投資信託）をよくお読みください。

信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

外国為替証拠金取引（FX）は、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

私設取引システム（PTS）業務の認可を取得したカブドットコム証券が開設した「kabu.comPTS」は、証券取引所とは異なるため、一般的に流動性が低く値動きが大きくなる可能性がありますので、お取引の際は注文状況をご確認の上でご注文ください。

お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ（<http://kabu.com/cost>）等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

掲載情報の最新情報は当社ホームページ（<http://kabu.com/>）にてご確認ください。

ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。

<http://kabu.com/info/escapeclause.asp>